令和7年度

【市長講話】

市政の動きについて

（平成30年度～令和7年度）

令和8年1月15日現在

伊万里市長　深浦弘信

市政方針

任期1期目　＊平成30年度～令和3年度

基本方針

人口減少に歯止めがかからない状況においても、将来を見据え、市政発展の基礎となる「人づくり」に、重点的に投資し、取組を再構築する

・あらゆる市民が生き生きと活躍できるステージを用意する

・まちづくりの担い手となる人材を確保する

特に

未来を担う大切な宝であり貴重な人材である「子どもたち」を育成するため、学習活動に専念できる環境を整備する

・老朽化が著しい学校施設の整備や維持補修
・学校長の裁量で使途を決定できる交付金制度の創設
・小中学校全ての普通教室へのエアコン設置
・大坪保育園とコミュニティセンターとの複合化施設の整備　など

任期1期目の重点施策　＊平成30年度～令和3年度

重点施策 1

将来を見据えた人づくり

- 児童生徒の学習環境の充実
- 子育て支援の充実

重点施策 4

交流人口の拡大によるにぎわいのあるまちづくり

- 特産品の活用
- 誘客活動の推進
- 受入体制の充実
- 「関係人口」の拡大

重点施策 2

市民主導型公民連携のまちづくり

- 市民団体等の支援
- 市民との対話の充実
- 地域との連携による生活の支援
- 地域を支える人づくり

重点　施策

重点施策 5

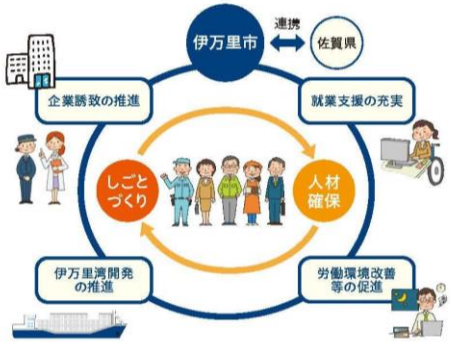
安全・安心な暮らしづくり

- 安全なインフラ整備
- 防災体制の充実
- 交通弱者の移動手段の確保

重点施策 3

しごとづくりと人材の確保

- 就業支援の充実
- 企業誘致の推進
- 伊万里湾開発の推進
- 労働環境改善等の促進



重点施策 6

効率的で効果的な行財政運営

- 効率的な行財政運営

任期2期目　＊令和4年度～令和7年度

基本方針

人口減少を最大の課題と捉え、

九州西北部の活力創造拠点となる持続可能な伊万里市の発展に向け、全市を挙げて、子育て・デジタル・産業・港湾・SDGsの5つの重点施策からなる「いまりSTEP UPプロジェクト」を展開する

令和7年度のテーマ

ここに住み、ここで働きたいと心から感じる、魅力あふれる伊万里市づくり

企業の集積により、昼間の人口が夜間より多い本市の強みをいかし、市外からの通勤者も含めた交流人口を、結びつきが強い関係人口に深化させ、さらに定住人口へとつなげる、持続的な成長を目指す

任期2期目の重点施策　＊令和4年度～令和7年度

「いまり STEP UP プロジェクト」を推進し、九州西北部における活力創造拠点へ

Support　支援

【1】未来を託す子育て応援都市

子どもと子育て世代の安心な暮らしを全力でサポートし、子育て世代が魅力を感じるまちづくりを目指す。

Technology　技術

【2】未来を先取るデジタル都市

デジタル技術等のテクノロジーをまちづくりに活用し、地方都市での不便さを感じることなく誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す。

Economy　経済

【3】競争に打ち勝つ産業都市

伊万里ブランドなど本市ならではの魅力を効果的に活用して、地場産業を振興し地域経済の活性化を図る。

Port　港

【4】世界に向けた港湾都市

アジア諸国との近接性と平穏で深い水深を持つ、西九州随一の良港である伊万里港の強みをいかす。

SDGs　持続可能

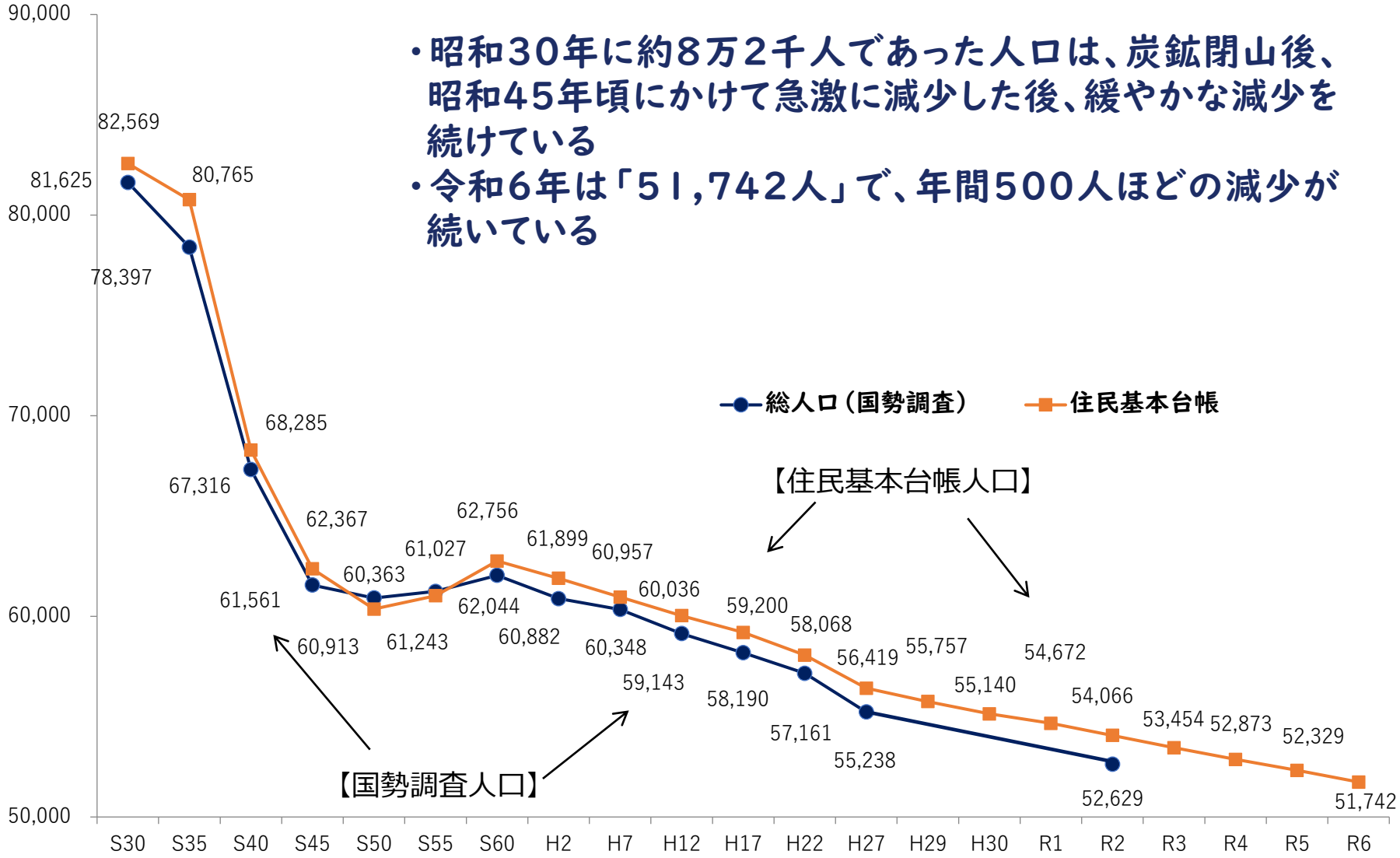
【5】SDGs推進都市

移住・定住の促進や脱炭素社会の構築など、SDGsの推進により、若者が希望を持って暮らすことができる、豊かで活力のある誰一人取り残さない「未来につながる持続可能都市」を目指す。

本市の現状

【本市の現状】人口の推移

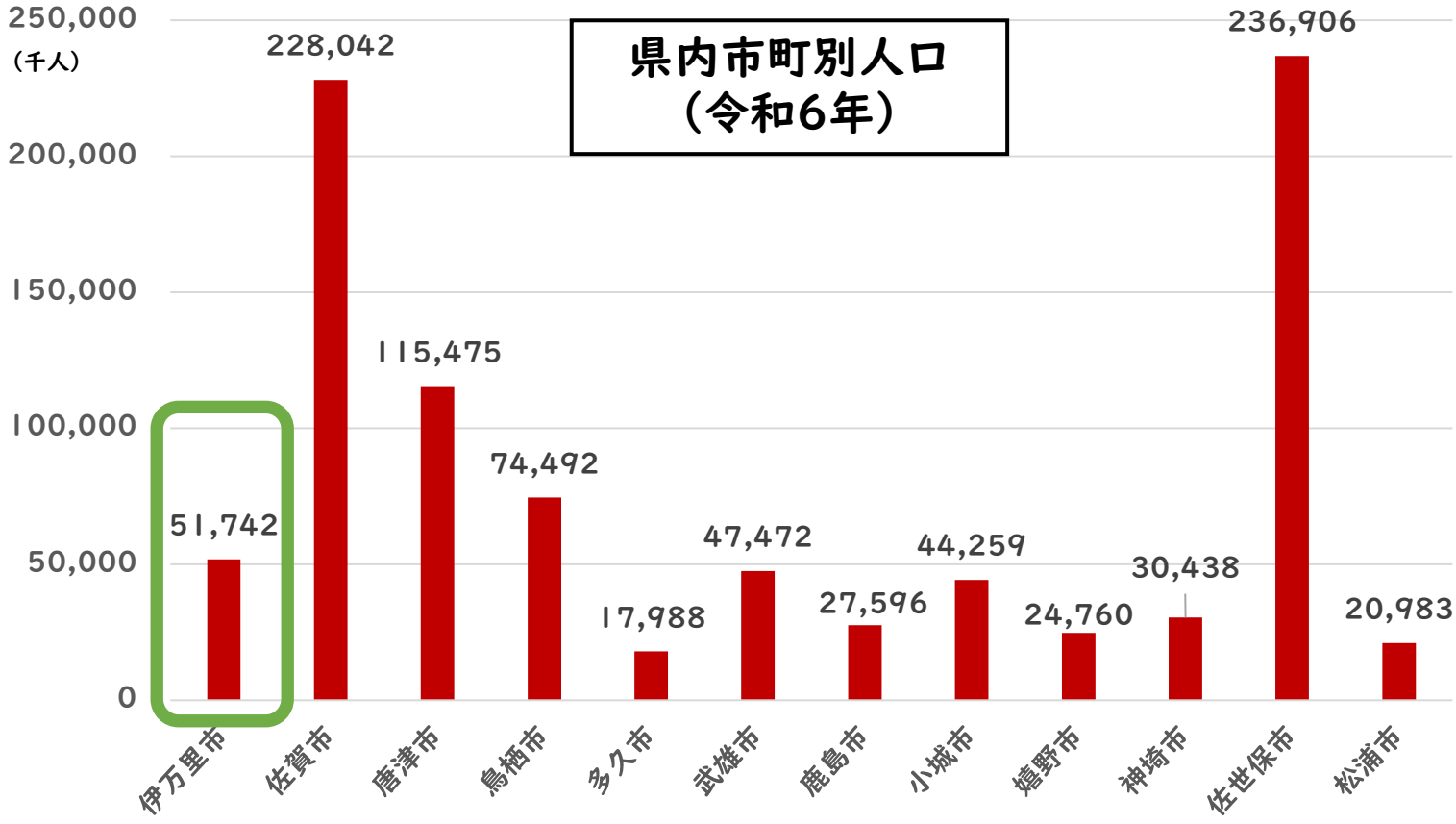
・昭和30年に約8万2千人であった人口は、炭鉱閉山後、昭和45年頃にかけて急激に減少した後、緩やかな減少を続けている
・令和6年は「51,742人」で、年間500人ほどの減少が続いている



資料：国勢調査・住民基本台帳（各年10月1日現在）

【本市の現状】県内市町等の人口

・佐賀県の人口は平成12年以降減少が続いており、令和6年1月時点で801,051人となっている
・県内では、佐賀市が最も多く、次に唐津市、鳥栖市の順で、伊万里市は県内で4番目となっている



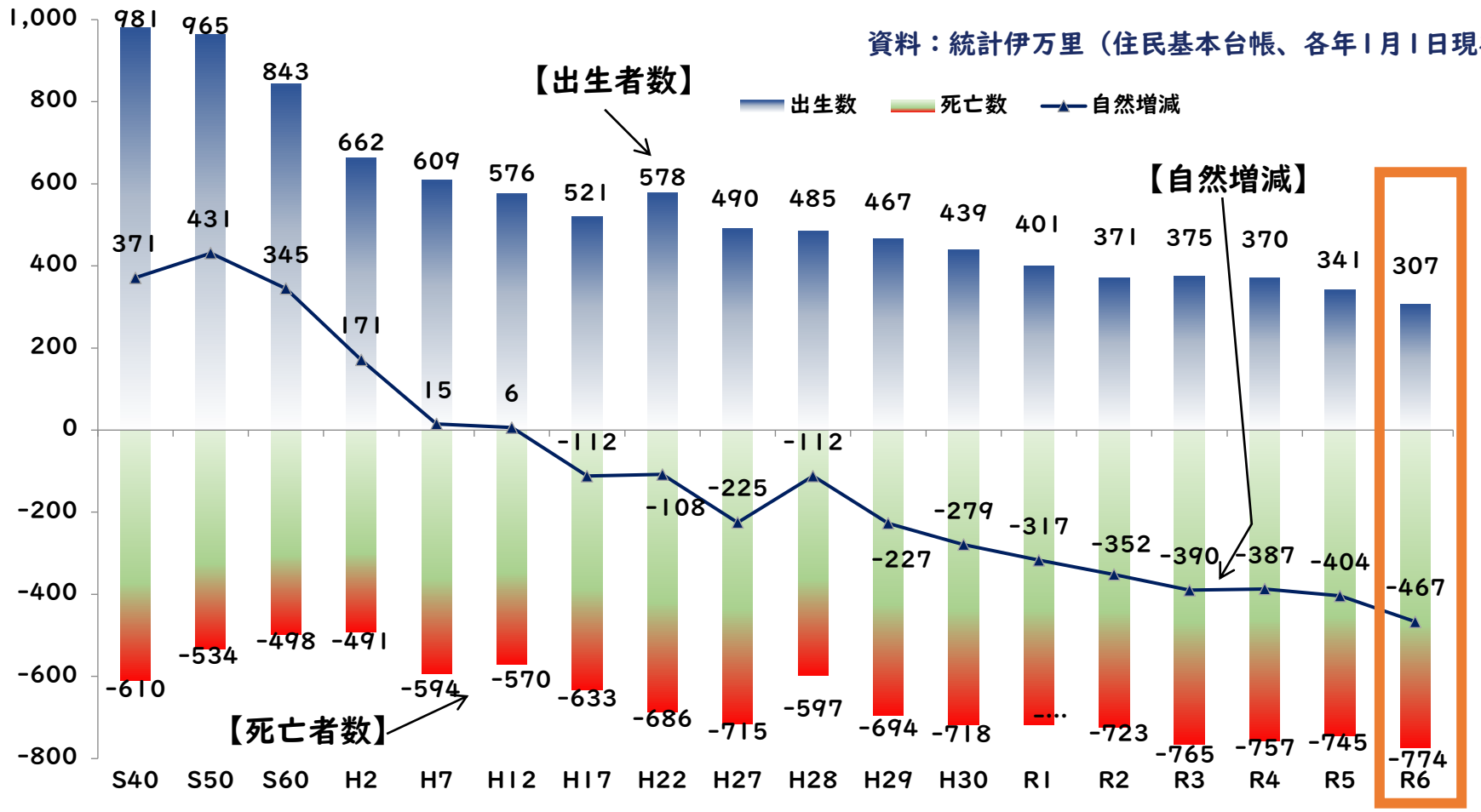
資料：住民基本台帳（令和6年1月1日、伊万里市のみ令和6年10月1日）

【本市の現状】自然動態(出生数と死亡者数)の推移

・出生者数は、平成以降、緩やかに減少していたが、ここ数年は減少が大きく、令和6年は過去最少の307人で、10年間で4割、約200人減少した
・死亡者数は、増加傾向にあり、ここ5年は自然減が拡大している

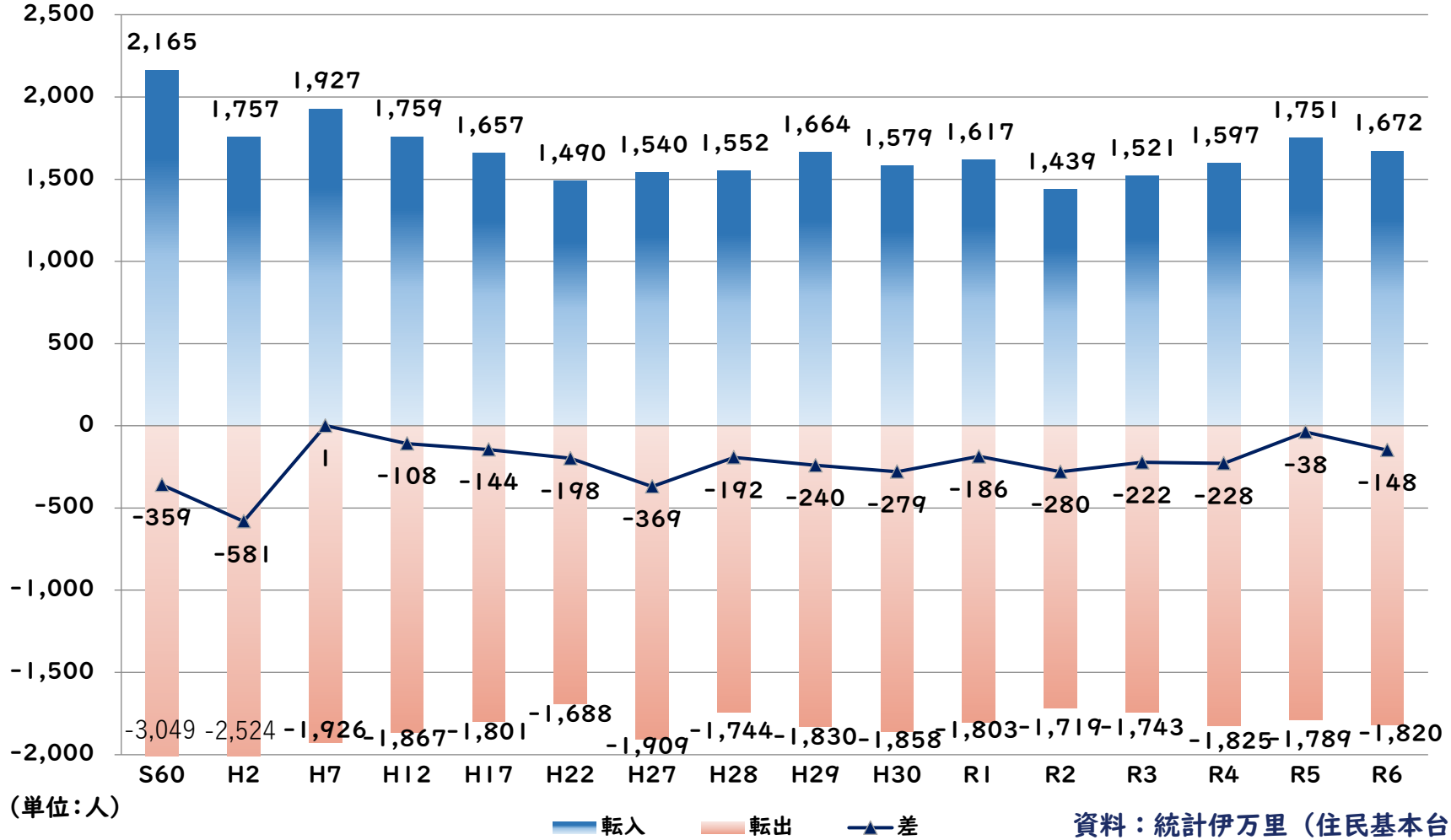
（単位：人）

資料：統計伊万里（住民基本台帳、各年1月1日現在）



【本市の現状】社会動態（転入者と転出者）の推移

・平成7年以降、転出超過が続いている。令和5年は市内企業の大幅な雇用拡大をいかした移住・定住施策の拡充のほか、外国人転入者の大幅増加（前年比＋149人）等により、転出超過がやや改善されたものの、解消には至っていない。

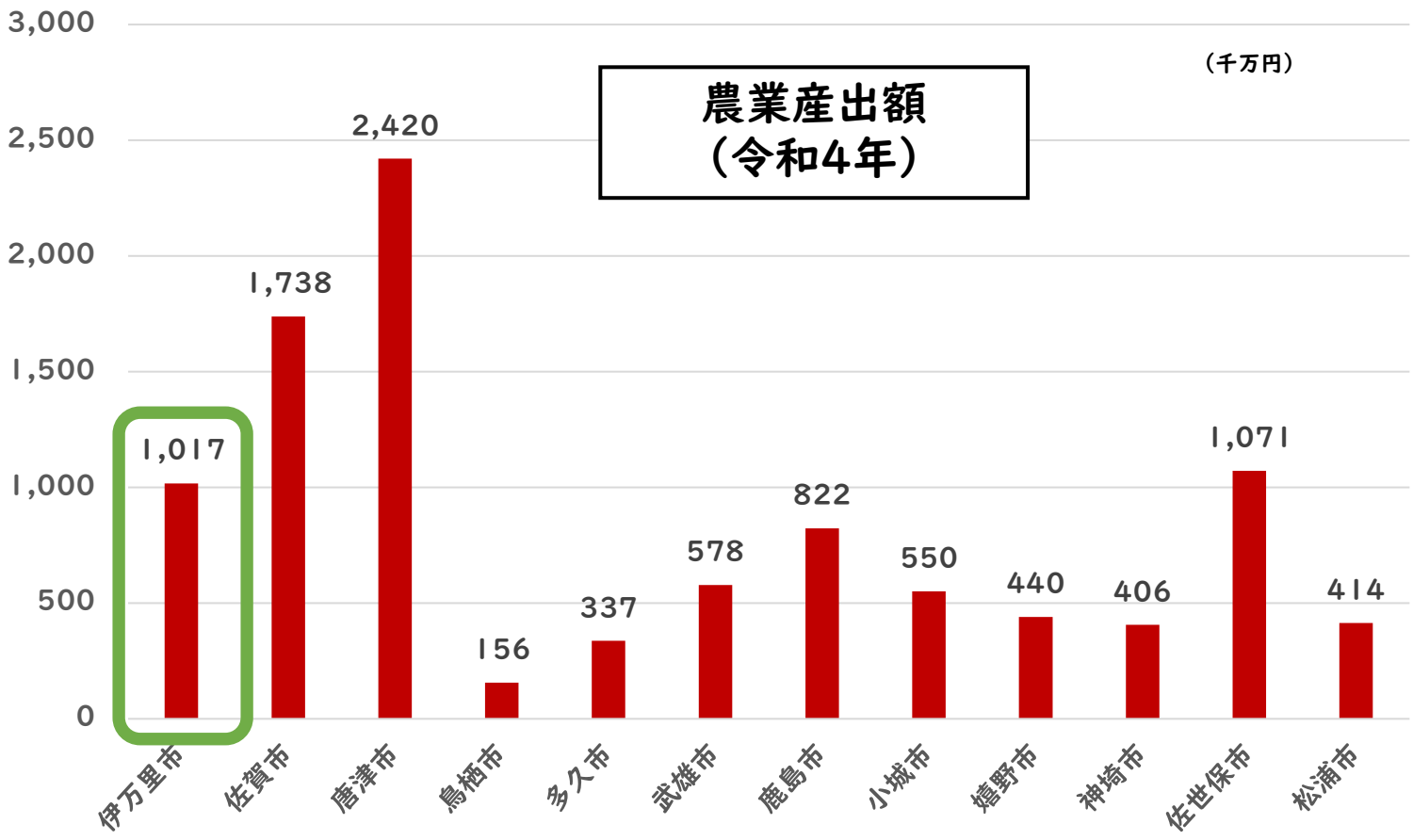


（単位：人）

資料：統計伊万里（住民基本台帳）

【本市の現状】県内市町等の農業産出額

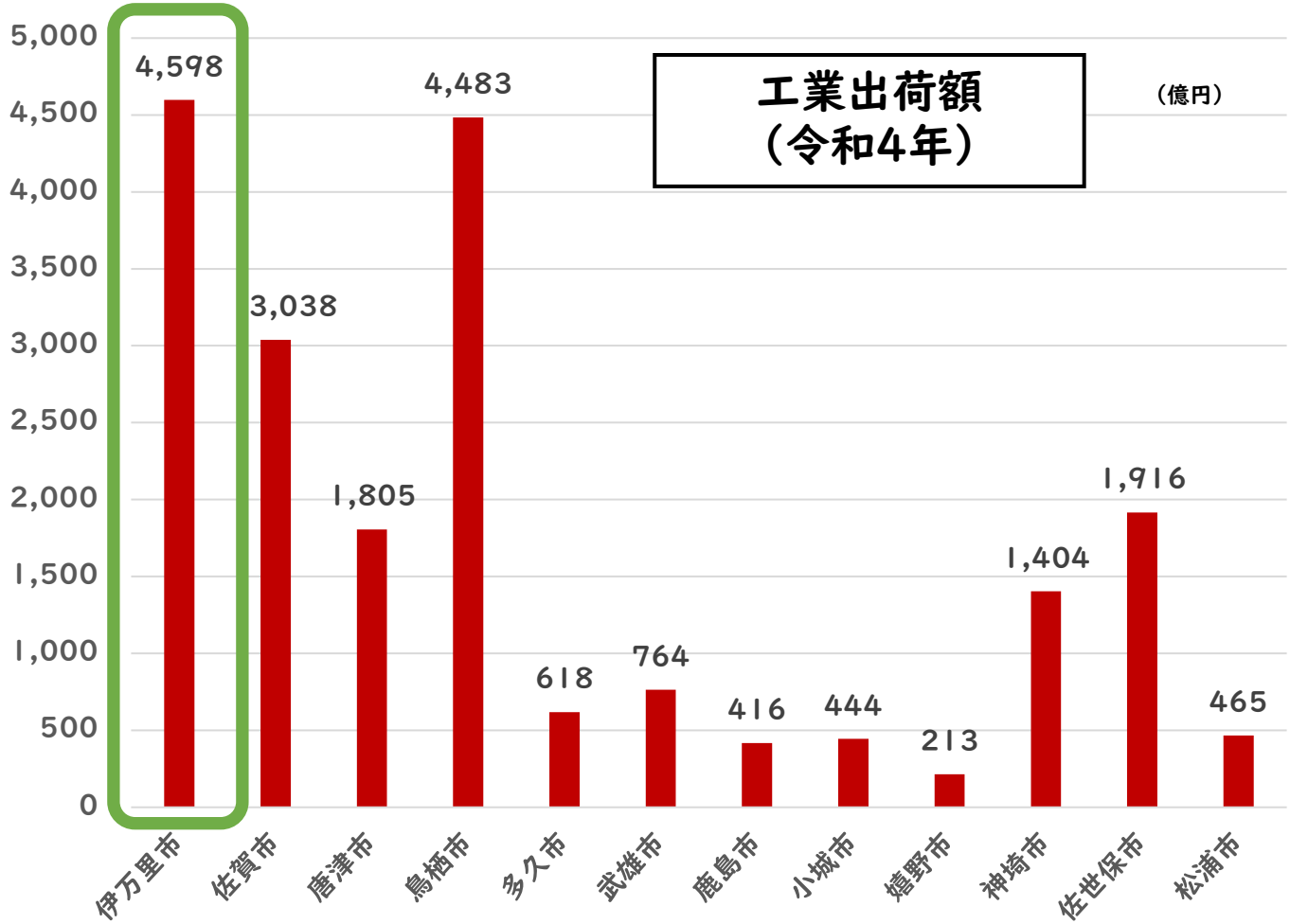
・県内では、唐津市が最も多く、次に佐賀市で、伊万里市は県内で3番目となっている
・本市の農業産出額のうち、畜産が43%、果実が24%を占めており、伊万里牛、伊万里梨等、伊万里ブランドの農畜産物が中心となっている



資料：生産農業所得統計（令和4年）

【本市の現状】県内市町等の工業出荷額

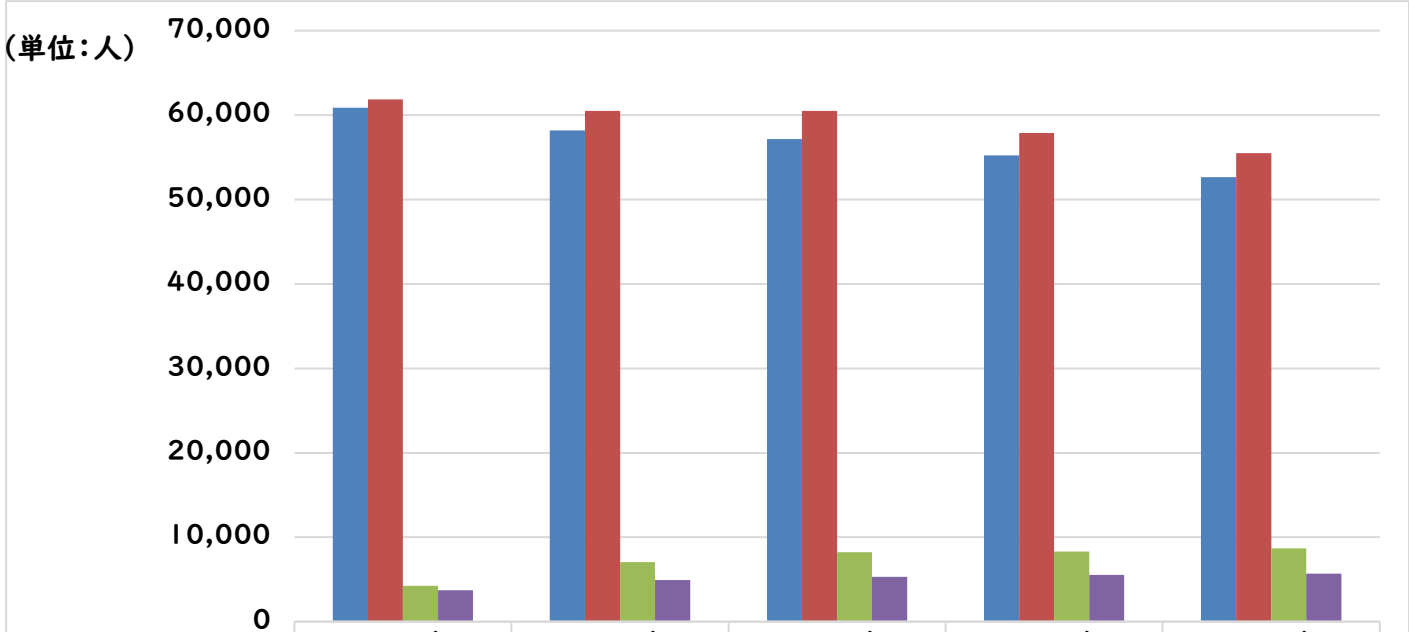
・県内では、伊万里市が最も多く、県総額の20%を占めており、次に鳥栖市、佐賀市となっている。長崎県内の市町と比べても、伊万里市が最も多い。



資料：経済構造実態調査（令和4年）

【本市の現状】企業集積による昼間人口の増加

・2020年時点で、市外から約9千人が通勤しており、現在ではさらに増加している
・昼間と夜間（常住地）の人口では、2020年では昼間人口が約3千人多い
・市外からの通勤者は、2020年と比較し、30年間で2.1倍（4,465人）増加しているが、市外への通勤者も30年間で1.5倍（1,965人）増加した

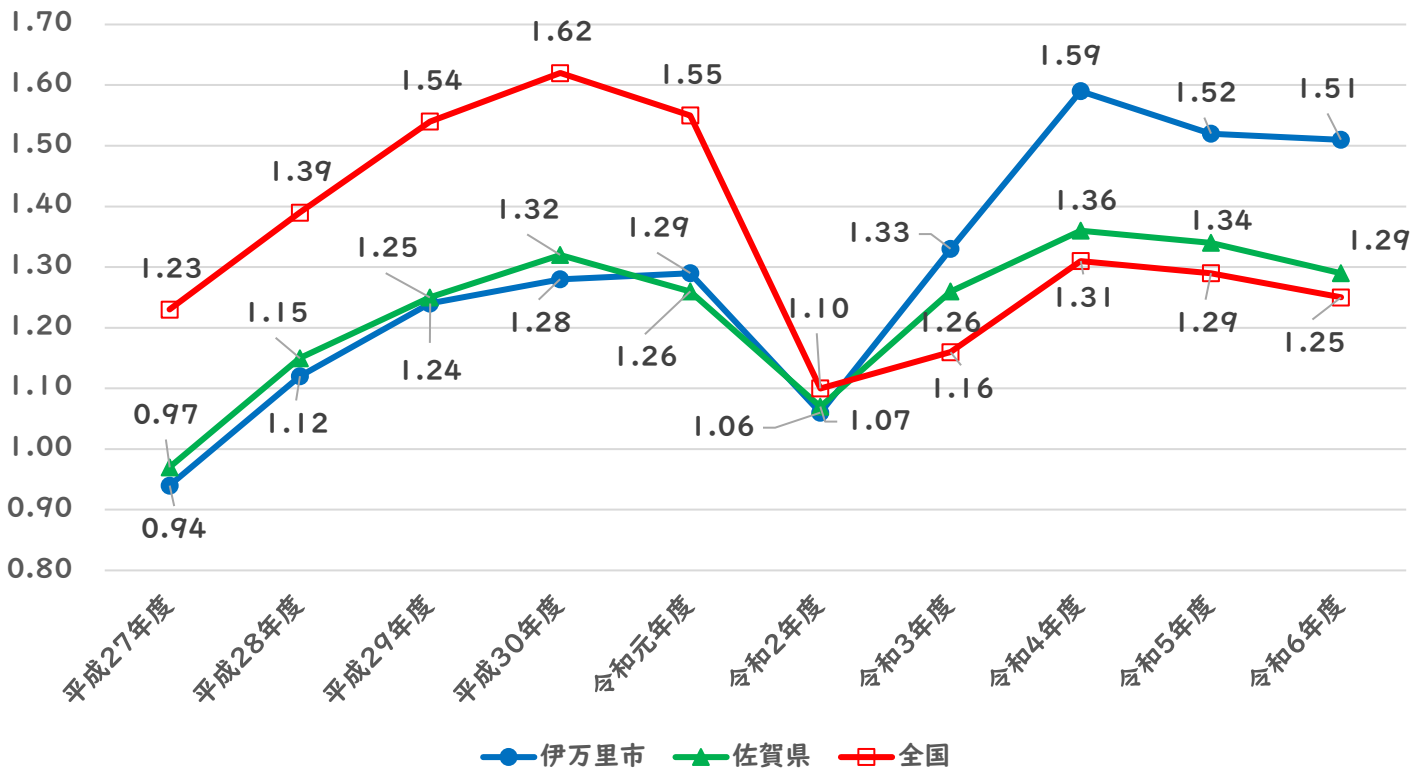


	1990年	2005年	2010年	2015年	2020年
人口（常在地）	60,882	58,190	57,161	55,238	52,629
昼間人口	61,845	60,501	60,498	57,863	55,501
市外からの通勤者	4,246	7,053	8,223	8,319	8,711
市外への通勤者	3,720	4,928	5,311	5,554	5,685

資料：国勢調査

【本市の現状】有効求人倍率が県内最高で推移

・本市の有効求人倍率は、以前は国・県を下回っていたが、令和3年以降、国・県を上回り、令和6年度は1.51倍で減少傾向にあるものの、県内で最高となっている

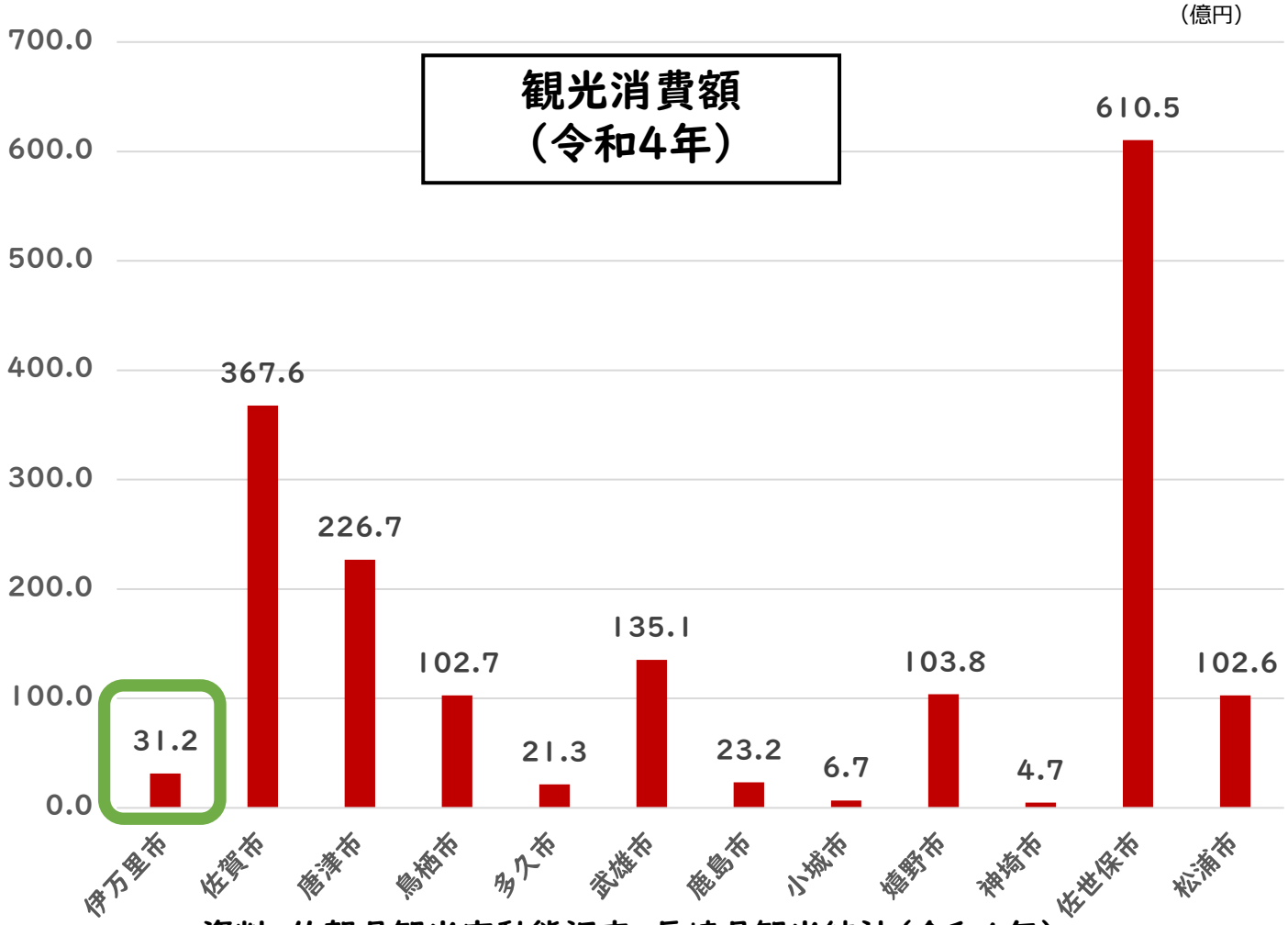


年度	佐賀	唐津	武雄	鳥栖	鹿島	伊万里
令和4年度	1.38	1.26	1.31	1.34	1.36	1.59
令和5年度	1.37	1.24	1.27	1.31	1.37	1.52
令和6年度	1.27	1.24	1.20	1.21	1.43	1.51

資料：ハローワーク

【本市の現状】県内市町等の観光消費額

・県内では、佐賀市が最も多く、次に唐津市、武雄市となっており、伊万里市は6番目となっている

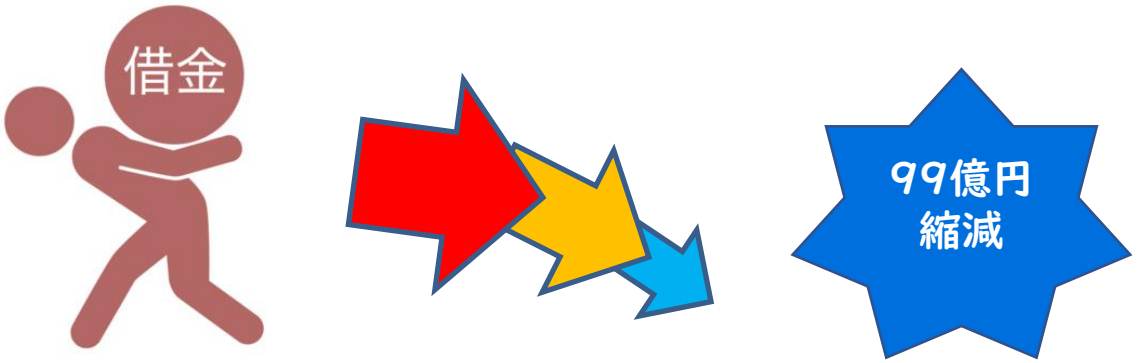


資料：佐賀県観光客動態調査、長崎県観光統計（令和4年）

【本市の現状】財政の健全化（借金の縮減①）

市債残高を7年間で約99億円縮減（506億円→407億円へ）

No.	区分	平成29年度末	令和6年度末	差引
1	一般会計	218億4,955万円	225億6,157万円	7億1,202万円
2	国民健康保険　（特別会計）	2億5,000万円	0万円	△ 2億5,000万円
3	水道事業　（企業会計）	55億1,156万円	54億6,071万円	△ 5,085万円
4	工業用水道事業（企業会計）	119億　503万円	66億4,491千円	△52億6,012千円
5	下水道事業　（企業会計）	110億5,382万円	60億2,424万円	△50億2,958万円
	合計	505億6,996万円	406億9,143万円	△98億7,853億円



＊令和2年度から公共下水道事業と農業集落排水事業を統合し、特別会計から企業会計へ移行

【本市の現状】財政の健全化（借金の縮減②）

・市長就任時点の平成29年度では、県内で最も財政状況が悪かったが、必要な事業を見極め、財政の立て直しを進めた結果、健全化判断比率が年々改善している

○実質公債費比率（早期健全化基準25％）

No.	市町名	平成29年度	順位	令和6年度	順位	差引
1	佐賀市	2.9	1	2.4	3	-0.5
2	唐津市	13.5	18	14.3	20	0.8
3	鳥栖市	6.9	7	0.8	1	-6.1
4	多久市	10.9	14	12.8	19	1.9
5	伊万里市	16.0	20	7.6	8	-8.4
6	武雄市	7.9	10	11.2	17	3.3
7	鹿島市	6.3	6	9.7	12	3.4
8	小城市	4.7	4	9.9	15	5.2
9	嬉野市	8.3	11	8.2	9	-0.1
10	神埼市	11.3	16	9.6	11	-1.7
11	吉野ヶ里町	11.2	15	9.8	13	-1.4
12	基山町	10.6	13	6.3	5	-4.3
13	上峰町	13.6	19	6.1	4	-7.5
14	みやき町	11.6	17	9.8	13	-1.8
15	玄海町	3.6	3	1.3	2	-2.3
16	有田町	7.2	8	8.9	10	1.7
17	大町町	5.2	5	7.2	7	2.0
18	江北町	9.3	12	12.1	18	2.8
19	白石町	7.5	9	10.9	16	3.4
20	太良町	3.5	2	6.5	6	3.0
	県平均	8.6		8.3		-0.3

○将来負担比率（早期健全化基準350％）

平成29年度	令和6年度	差引
-	-	-
109.9	117.5	7.6
-	-	-
-	-	-
91.3	30.6	-60.7
36.7	-	-
113.3	98.4	-14.9
-	-	-
69.3	-	-69.3
35.3	36.7	1.4
-	-	-
31.3	-	-31.3
-	-	-
-	-	-
-	-	-
54.2	-	-54.2
8.5	-	-8.5
-	-	-
15.8	-	-15.8
-	-	-
56.6	70.8	14.2

＊値が小さいほど財政が健全であることを示す

【本市の現状】財政の健全化（基金残高）

・一般会計の普通預金に当たる財政調整基金や借金の返済に充てる減債基金など、令和6年末で10の基金がある

No.	区分	平成29年度末	令和6年度末
1	財政調整基金	12億　834万円	34億　857万円
2	減債基金	5億　543万円	8億　886万円
3	公共施設整備基金	3億1,437万円	12億4,372万円
4	城Ⅱ灌漑揚水維持管理基金	8,891万円	7,004万円
5	国民健康保険基金	2万円	6億7,917万円
6	介護保険基金	3億　598万円	9億9,100万円
7	教育振興奨励基金	654万円	1億5,810万円
8	まちづくり基金	3億5,206万円	4億7,278万円
9	福祉基金	3億　808万円	4億3,639万円
10	ふるさと応援基金	9億3,350万円	36億5,262万円
11	広域ごみ処理施設建設に係る地域振興基金	4億1,307万円	-
12	その他	1億4,871万円	-
	合計	45億8,501万円	119億2,125万円

差引　73億3,624万円　増

ふるさと納税の活用による財政運営

個人版ふるさと納税とは

ふるさと納税とは、生まれた故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度

概要

①税金の控除が受けられる
（寄附上限額は住民税の2割が目安）
② 伊万里牛・伊万里梨・伊万里焼など
1,000種類以上の豊富な返礼品
③寄附金額
・令和4年度　29億2,555万円
・令和5年度　23億8,939万円
・令和6年度　27億2,170万円

ガバメントクラウドファンディング

寄附金の使い道に共感した方から寄附を募る

実績

・松浦鉄道　老朽化した駅名標などのリニューアル
・目標：180万円 ⇒ 【実績】252万円

【伊万里の特産品】

伊万里市は
県内で4番目、
全国で84番目
の寄付額！

【古くなった駅名標表】

企業版ふるさと納税の取組を強化します

企業版ふるさと納税とは

企業が地方公共団体の地方創生の取組に対して寄附した場合に法人関係税を税額控除する制度で、寄附額の増加に向け、全庁をあげて取組を強化する

実質的な企業負担は約1割：　例えば100万円を寄附すると、税の軽減効果が90万円で、実質的な企業負担は10万円になる

企業版ふるさと納税の現状

全国の寄附金額では、
令和3年度は約226億円、
令和4年度は約341億円、
令和5年度は約470億円と
年々増加している

【伊万里市実績】

令和3年度	1件	50万円
令和4年度	3件	1,030万円
令和5年度	3件	250万円
令和6年度	7件	580万円

下記4つの事業を柱として寄附を募ります

① 新しい体育施設をつくる事業

目標寄附額16億2千万円

② 市街地複合施設をつくる事業

目標寄附額7億100万円

③ カーボン・ニュートラル・ライブラリーをつくる事業

目標寄附額1億2千500万円

④ 海に親しむ公園をつくる事業

目標寄附額6千万円

将来を見据えた人づくり
／未来を託す子育て応援都市

人づくり／子育て応援　【主な事業】

子育て・若者成長
応援パッケージ

支える/人的・経済的支援

- 子ども医療費の助成拡充
- 学校給食費の助成
- 保育料の改定
- 子ども第3の居場所きららの設置
- 婚活応援
- 不妊治療等の助成　など

感じる/学習・体験

- 学校運営交付金の創設
- 就学前児童向けファミリーコンサートの開催
- 中学生の英語学力向上対策
- 市内高等学校支援　など

選ばれる/環境整備

- 小中学校の全ての普通教室と特別教室にエアコン設置
- 伊万里中学校改築
- 東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の整備
- 統合に伴う東陵学園等の増改築
- 留守家庭児童クラブの拡充
- 公立保育園の民営化
- 国見台体育施設の改修
- 松浦町スポーツ・レクリエーション施設の整備
- 複合遊具・インクルーシブ遊具の整備
- 屋内遊び場の設置　など

人づくり／子育て応援

「子育て・若者成長応援パッケージ」として、「支える」「感じる」「選ばれる」の3つの視点から子育て支援施策を展開

子どもの成長と子育てを「支える」

- 婚活事業の拡充
- 子どもの医療費助成の拡充（高校生分を新規追加）
- 病児保育への支援
- 子どもの屋内遊び場の整備
- 不妊治療・検査の支援
- 東陵学園スクールバス等の通学支援
- 学校給食費の補助

若者が子育てしたいと「感じる」

- 市内高校生に新たな学習機会を提供
- 中学生の英語検定受験料補助
- 図書館開館30周年記念イベント開催
- IMARIデジタル塾の開催
- 市内企業見学の実施
- デジタル・シティズンシップ教育推進事業

子育ての場として「選ばれる」

- 通学路等の整備
- 公園の整備（遊具設置、更新）
- 小学校トイレ改修
- 国見台公園総合整備
- 市民会館跡地の複合施設整備
- 移住奨励金の交付
- 東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の整備

2025年版

子育て世代のための魅力的な施策がたくさんあるんだよ！

人づくり／子育て応援

子育て・若者成長応援パッケージ

支える

すべての子どもの医療費を支援します

就学前児童の医療費の拡充

県内の市では初めて、令和5年度に後日の申請手続きによる実質無料とし、令和6年度から窓口負担なしとした

高校生年代の助成対象を拡大

令和7年4月から、入院費助成に加え、後日の申請手続きにより通院費1,000円、調剤費無料とし、令和8年4月から窓口負担1,000円とする予定

	通 院	入 院	調 剤
未就学児	令和5年度から すべて無料		
小中学生	1,000円/月・病院		無 料
高校生年代	1,000円/月・病院 令和7年度拡充	1,000円/月・病院 令和5年度から	無 料 令和7年度拡充

学校給食費を補助します

物価高騰により、学校給食費が令和5年度と6年度の2年連続で増額改定される中、

- 令和6年度から、進学等に向け、特に経済的負担が大きい**中学3年生・義務教育学校9年生**の給食費を全額補助
- 令和5年度から7年度まで、上記以外の学年の給食費の**値上げ分の半額**を補助

学校給食費補助額

	改定後/月	改定増額/月	補助額/月	保護者負担額
小学生	5,000円	900円	450円	4,550円
中学1・2年生	5,900円	1,100円	550円	5,350円

保育料を改定しました

公立保育園の民営化による財政効果を子育て支援施策に活用し、保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、令和６年度から約９割の世帯の保育料を引き下げ

（単位：円）

階層	市町村民税所得割額	標準時間保育料（月額）		
		現行	改定後	現行との差額
1	生活保護世帯	0	0	0
2	市町村民税非課税	0	0	0
3	48,600円未満	19,000	13,600	▲ 5,400
4	48,600円以上 97,000円未満	27,000	21,000	▲ 6,000
5	97,000円以上 169,000円未満	41,000	31,100	▲ 9,900
6	169,000円以上 301,000円未満	54,000	42,700	▲ 11,300
7	301,000円以上 397,000円未満	54,000	56,000	2,000
8	397,000円以上	54,000	72,800	18,800

積算基準

全階層の保育料を国の基準額の70%の額に設定した

県内10市でトップレベルに安い水準となる

※第８階層は、急激な保護者負担の増加を避けるため、経過措置を設ける

【第8階層経過措置】

令和6年度：60,200円

令和7年度：66,500円

令和8年度から改定後額

人づくり／子育て応援

子育て・若者成長応援パッケージ

支える

子ども第三の居場所「きらら」を設置しました

生活環境に課題を抱える子どもが、将来の自立に向けた力を育成するため、学習や生活のサポートを行う、家でも学校でもない居場所「きらら」を開設した

事業内容

・生活習慣の形成（食事、入浴）・学習の支援
・食事の提供　　・相談支援　※必要に応じ送迎

事業概要

・構造：木造一部鉄骨平屋建　300.99㎡
・施設：プレイルーム、相談室、学習室、
　　台所食事室、浴室　など
・定員：20名/日　　・利用料：無料

開設日

令和7年2月27日
＊日本財団とB&G財団の助成金を活用

人づくり／子育て応援

子育て・若者成長応援パッケージ

支える

出会いの機会を広げるためにサポートします

さが出会いサポートセンターへの登録料補助

令和7年度
新規

- 新規登録料5,000円（上限）
- 更新料　　4,000円（上限）

結婚を機に市内で新生活をおくる夫婦への費用補助

- 住宅取得、リフォーム、住宅賃借、引越し費用支援
  夫婦ともに29歳以下　最大60万円補助
  夫婦ともに39歳以下　最大30万円補助

出産への願いに寄り添います

不妊治療等エンゼルサポート事業

- 不妊治療への補助
  夫婦一組あたり　最大3万円
- 不妊検査への補助
  夫婦一組あたり　最大2万円

令和7年度
新規

県内初

人づくり／子育て応援

学校運営交付金を創設しました

平成30年に学校長の裁量で使途を決定できる交付金制度を新設（例：啓成中学校の取組↓）

伊万里供日前の「おくんち学習会」

学校目標の看板設置

生徒によるボランティア清掃活動

生徒によるボランティア清掃活動

就学前児童向けファミリーコンサートを開催しました

市内に住む就学前児童を対象に、子ども向け音楽・体操ユニットのケロポンズによるファミリーコンサートを開催

事業概要

- 令和6年11月24日（日） 伊万里市民センター
- 入場無料で、午前と午後の2回公演
- はたらくのりものやエアー遊具、キッチンカー出店
- 2回公演と屋外イベントで、2,000人が来場

人づくり／子育て応援

子育て・若者成長応援パッケージ

感じる

中学生の英語力向上を支援します

令和7年度
新規

中学生の英語力向上を図るため、英語検定の受験料を補助する

English

Imari

Education

Excellent!

英検（実用技能英語検定）受験料補助

- 5級～3級　　全額補助
- 準2級以上　　半額補助

学習用端末を活用した英語力向上

- 学習用端末内のアプリ活用
- 家庭学習での活用

人づくり／子育て応援

子育て・若者成長応援パッケージ

感じる

市内高等学校の魅力を高めます

一部の高校で定員割れが続くなか、市内高等学校の魅力を高めるため、令和7年度から、企業をはじめ地域全体で高校生を育む、伊万里市ならではの新たな学習機会を提供する

地域の人々と親しむ機会をつくることで、高校生が地域を知り、伊万里で就職するきっかけにづくりにつなげたい

アイ・ケイ・ケイホールディングス
株式会社　金子氏講演会
（R7.6.10　市民センター）

令和7年度
新規

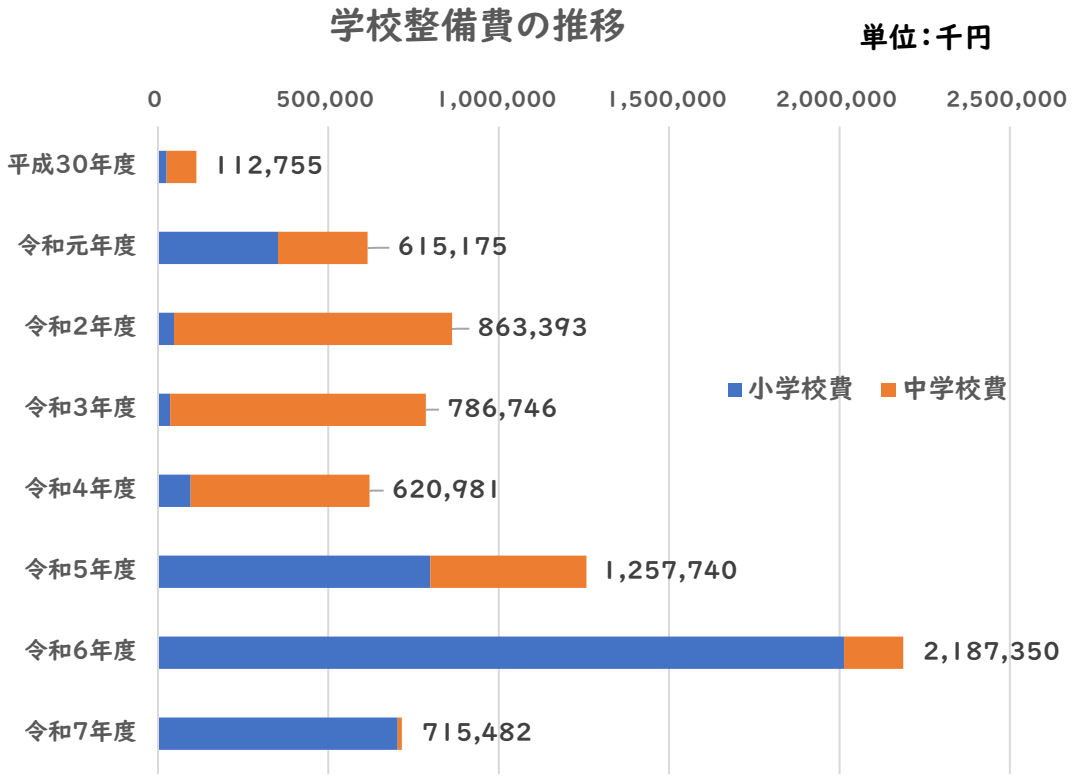
事業概要

- 高校と地域をつなぐワンストップ窓口の設置　　＊バス借上料等の予算化
- 市内外で活躍する著名人による講演会の開催
- 未来創造フィールドワーク等補助金の創設　　＊実施証明書の発行
- 伊万里市高校応援団の設立
  ＊令和7年6月12日時点
  46団体参加（企業、団体等）

学校整備費の推移

平成30年度以降、伊万里中、東山代複合施設、東陵学園等を整備したほか、普通教室と特別教室へのエアコン設置、伊万里小等のトイレ改修、屋内運動場の改修など、集中的に施設改修に取り組んでいる

主な事業
伊万里中実施設計・エアコン借上げ料、学校エアコン設計・設置工事
学校エアコン設置工事、伊万里中校舎改築（管理・普通教室棟工事、用地購入）、大川内小トイレ改修
伊万里中校舎改築（管理・普通教室棟工事、備品購入）伊万里小・松浦小屋内運動場改修
伊万里中校舎改築（特別教室棟工事）、東山代複合施設整備（基本・実施設計委託）
伊万里中校舎改築（特別教室棟工事、解体、備品購入）大坪小外屋上防水改修、トイレ洋式化
東山代複合施設整備（工事）、伊万里中外構・屋外運動場拡張・剣道場整備（工事、備品）、東陵学園等整備（工事）
東山代複合施設整備（建設工事、備品購入）、特別教室エアコン設置工事、伊万里小トイレ改修実施設計
東山代複合施設整備（旧施設解体、外構、グラウンド整備）伊万里小トイレ改修



・令和6年度は決算見込み、令和7年度は予算、それ以外は決算額

人づくり／子育て応援

小中学校にエアコンを設置しました

子どもたちのより良い学習環境を整備するため、市長就任直後からエアコン設置の準備を進め、令和元年度に普通教室への設置が完了し、令和6年12月に特別教室への設置が完了した

普通教室

- 中学校　令和元年5月設置完了　72教室
- 小学校　令和元年8月設置完了　163教室
- 総事業費　約4億3，100万円

特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、多目的室等）

- 中学校　令和6年12月設置完了　34教室
- 小学校　令和6年12月設置完了　39教室
- 総事業費　約3億2，300万円

人づくり／子育て応援

伊万里中学校の改築工事が完了しました

校舎の耐震化を図るため、令和元年度から改築工事に着手し、令和6年3月21日に落成式を行った

工事期間

- 工事着工　令和元年　9月
- 南校舎完成　令和2年12月
- 北校舎完成　令和4年　5月
- 屋内運動場改修　令和4年10月
- 剣道場・外構等完成　令和6年3月

工事概要

- 総事業費　27億6千万円
- 構　　造　鉄筋コンクリート造 4階建て
- 延床面積　6,797㎡（校舎）

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の整備

耐震基準を満たしていない東山代小学校と併設する留守家庭児童クラブ、コミュニティセンターを県内初の複合施設として整備し、地域の子育て力の向上を図る。令和7年3月の卒業式は新体育館で実施した。

スケジュール

- 令和3年度　基本設計
- 令和4年度　実施設計
- 令和5・6年度　建設工事
- 令和7年4月　開校
- 令和7年度　外構工事

概要

- 総事業費
  30億5千万円
- 構造
  鉄筋3階建て
- 延床面積
  5,958㎡

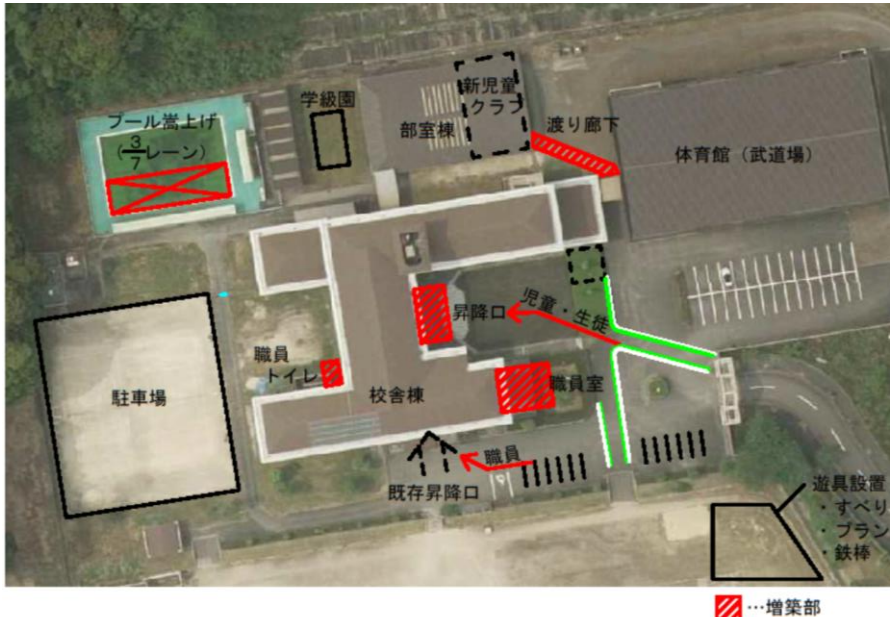
人づくり／子育て応援

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

東陵学園が開校しました

大川小と松浦小の老朽化や児童数の減少に伴い、両小学校と東陵中学校を統合し、東陵中校舎の増築及び改修工事を行い、令和7年4月に市内2校目の義務教育学校が開校した



整備概要

- 総事業費
  4億2千万円
- 改修内容
  職員室増設
  昇降口新設
  職員トイレ新設
  各階内部改修
- 工期
  令和5～6年度

人づくり／子育て応援

留守家庭児童クラブの整備を進めています

・受入対象学年の拡大
平成30年度から、3年生までを6年生までに拡大
・利用者の増加に伴い、平成31年4月に大坪第4児童クラブ、令和2年12月に立花第5児童クラブを開設
・学校統合と校舎改築に伴い、令和7年4月に東陵第1・2児童クラブと東山代第1・2・3・4児童クラブを改築

大坪第4児童クラブ

開所時間の延長

・平成31年度より、終了時間を18時から19時に延長

支援員の待遇改善と支援体制の充実

・支援員の処遇改善
令和3年度と6年度に時給引き上げ
・支援体制の充実
支援を要する児童の増加に伴い、令和3年度に3名、4年度に3名、5年度に3名の支援員を追加配置

東山代第1・2・3・4・5児童クラブ

※1階左側が児童クラブ

公立保育園の民営化の推進

公立保育園は、施設の老朽化が著しく、子ども達の保育環境の改善を早急に図る必要があることから、国の補助制度を活用した民間による整備を行うため、民営化した

【南波多保育園新園舎模型】

民営化の状況

公立保育園名	民営化後の園名	運営法人名	民営化の時期	新園舎開園時期
伊万里保育園	いまり保育園	学校法人 伊万里学園	令和4年4月1日	令和9年4月
牧島保育園	牧島保育園	社会福祉法人 明志会	令和4年4月1日	令和8年4月
南波多保育園	南波多保育園	社会福祉法人 伊万里福祉会	令和4年4月1日	令和8年9月
大川保育園 松浦保育園	統合して民営化 （名称未定）	社会福祉法人 伊万里福祉会	令和10年4月1日	令和10年4月

人づくり／子育て応援

国見台体育施設を改修しました

○国民スポーツ大会開催に向けた改修整備
- 競技施設：球技場（ホッケー）、野球場（軟式野球）、陸上競技場（フライングディスク）
- 総事業費：6億1千万円
- 工　　期：令和3年7月から令和4年3月完了

主な整備内容

球技場

- ●人工芝新設
- ●トイレUD化

野球場

- ●ラバーフェンス改修
- ●内野黒土入替え
- ●スコアボード改修
- ●トイレUD化

陸上競技場

- ●内圏緑石改修
- ●スタンド屋根改修

人づくり／子育て応援

松浦町スポーツ・レクリエーション施設の整備

佐賀県西部広域環境組合とさが西部クリーンセンター対策協議会で締結した「地域振興策協定」に基づき整備し、令和4年3月に落成式を行った

概要

○施　　設：
- ・球技場　120m×120m（野球1面、ソフトボール2面、サッカー1面）
- ・サブグラウンド　110m×　60m
- ・グラウンド・ゴルフ場　8ホール×2コース（公認コース）

○総事業費：9億7,226万円
○工　　期：平成25年から令和4年2月完了

伊万里松浦球技場

伊万里松浦グラウンド・ゴルフ場

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

複合遊具・インクルーシブ遊具を整備しています

令和4・5年度は、ファミリーパークにインクルーシブ遊具、国見台公園や森永公園等に複合遊具を整備した

令和6年度は、楠久津公園の老朽化した複合遊具とインクルーシブ遊具を整備し、3月にリニューアル工事が完了した

【ファミリーパーク・インクルーシブ遊具】

事業費（遊具整備）

令和4年度　36,300千円
令和5年度　39,747千円
令和6年度　25,561千円

【楠久津公園
インクルーシブ遊具】

【国見台公園複合遊具】

人づくり／子育て応援

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

子どもの屋内遊び場『いまりっこらんど』OPEN

子どもの成長に応じた遊び場を提供し、安心して子育てができる環境を提供するため、就学前子ども向けに、待望の屋内遊び場を設置した

暑い日が続く中、利用者の満足度も高く、多くの家族が利用している

事業概要

- 伊万里市民センター
  トレーニングルーム内
- 入場無料
- 株式会社名村造船所の寄附
  を活用

開設日

令和7年7月19日プレオープン
8月 2日グランドオープン

利用状況

利用者数：2,289人　＊7月19日～8月17日の1か月間

未来を先取るデジタル都市

未来を先取るデジタル都市　【主な事業】

- 小中学校GIGAスクール構想による児童生徒一人一台の端末整備
- Imari Kids プログラミングコンテスト
- デジタルドリルと校務支援システムの導入
- 母子健康手帳アプリの導入
- 保育園への保育システムの導入
- デジタルシティズンシップ教育の推進
- IMARIデジタル塾の開催
- スマート窓口の導入と庁舎１階窓口フロアリニューアル
- 農業DXの推進
- 公共施設利用案内システムの導入
- 電子入札システム等の導入
- オンライン相談システムの導入
- 道路台帳平面図閲覧サービスの導入　など

小中学校GIGAスクール構想環境整備

児童生徒一人一台の端末と校内通信ネットワークを整備し、ICTの活用により全ての子どもたちの情報活用能力の育成や創造性を育む教育の実現する

また、新型コロナウイルス感染症等対策として学びを保障できる環境を実現することで、よりよい社会と魅力ある伊万里の創り手となる『未来に羽ばたく伊万里っ子』を育成する

日常的なICT利活用を推進

◆情報活用能力
情報を収集し、学習や生活に生かす力の育成

◆効果的な学習
子どもたち一人一人のニーズに応じた学習の推進

◆プログラミング教育の推進
筋道を立てて問題を解決していく力の育成

◆オンライン授業
非常時の学びの保障

※ICT支援員配置によりICT利活用を強力にサポート

整備内容

◇R2 校内通信ネットワーク整備
無線整備・保管庫整備、LAN工事等

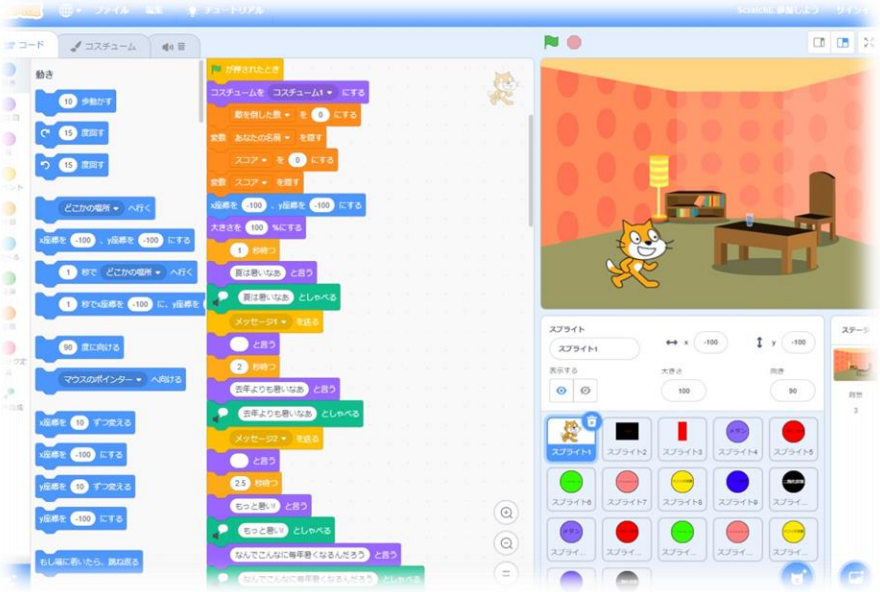
◇R2 タブレット端末等購入
タブレット端末4,622台、書画カメラ200台

◇R3 ICT活用支援業務
ICT支援員5名配置

未来を先取るデジタル都市

Imari Kids プログラミングコンテスト 2022

株式会社CA Tech Kidsの協力により、市内在住の小学生を対象としたプログラミングコンテストを開催し、挑戦する機会を設けることで、児童のプログラミングに関する学習意欲やスキルの向上を図った



未来を先取るデジタル都市

デジタル技術を地域課題解決のカギに

学校のICT化

令和5年度
導入事業

（1）デジタルドリルの導入

児童生徒一人一台の端末を活用した個別最適化された学習を推進

（2）校務支援システムの導入

成績処理等の教職員業務の効率化

【1人1台学習用端末の活用】

子育てDX

（1）母子健康手帳アプリの導入

手続き等の時間短縮や成長に応じた子育て情報の提供

（2）保育システムの導入

大坪保育園に導入、保護者との連絡、出席確認、報告業務等を効率化

【母子手帳アプリ】

未来を先取るデジタル都市

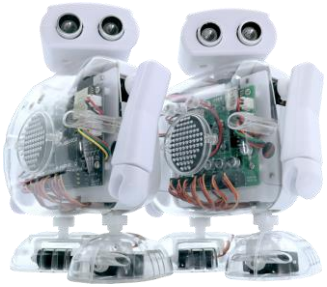
デジタル技術を地域課題解決のカギに

本市独自のデジタル教育を推進します

令和6年度
新規事業

デジタルシティズンシップ教育の推進

令和6年度から、市内のIT企業と連携し、中学生のデジタルへの興味、関心を高めるため、各中学校等で、プログラムでドローンやロボットが動く体験等を展開する



対象　中学校・義務教育学校

IMARIデジタル塾開催事業

本市ビジネス支援オフィス「バンリビル」で、多世代を対象に、市内進出IT企業と連携し、プログラミングやAI等のデジタル技術を使い、伊万里市独自の学びや交流を楽しめる塾を開催する

対象

子ども、子育て世代、高齢者等の多世代

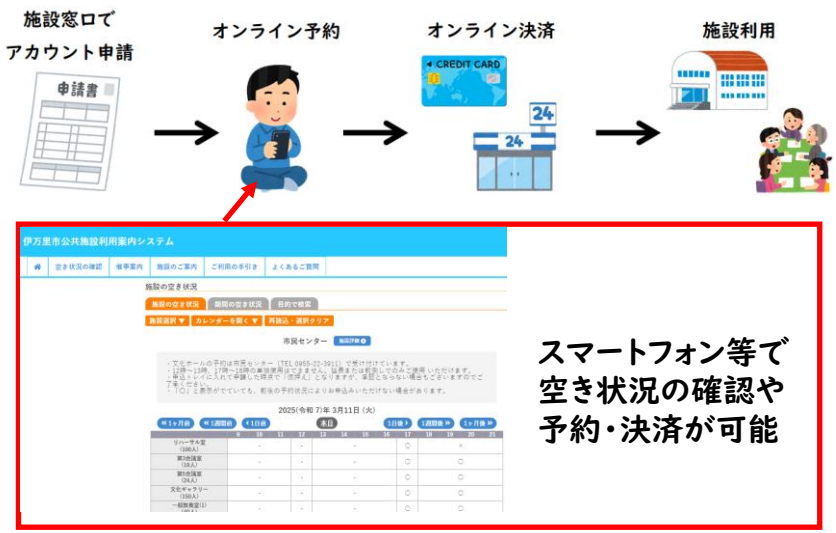
未来を先取るデジタル都市

デジタル技術を地域課題解決のカギに

公共施設利用案内システムの導入

令和6年度 導入事業

利用者の利便性向上を図るため、令和7年3月に各公共施設の空き状況の確認や予約・決済が可能なシステムを導入



対象施設

市民センター、コミュニティセンター、生涯学習センター、体育施設

電子入札システム等の導入

従来の書面による手続きではなく、入札書の提出、落札者の決定、結果通知など、入札手続きをインターネットにより実施し、入札参加者や職員の事務負担の軽減を図るため、令和7年2月にシステムを導入

スマート窓口の導入と庁舎1階窓口フロアリニューアル

スマート窓口の導入

市民課等での行政手続きをシステム化し、手書きによる煩雑さや誤記入の防止、手続き時間の短縮を図るため、令和6年3月にスマート窓口を導入した

庁舎1階窓口フロアリニューアル

スマート窓口の運用に合わせ、目的の窓口がどこにあるかわかりやすくするため、令和7年1月に、来庁者に配慮した案内サイン等を一体的に整備した

農業DXを推進します

高齢化等による農業者の減少が進む中、持続可能な農業を実現するため、省力化に資するスマート農業技術の普及や生産体制の充実を目指す

実施事業

●実証事業
・ラジコン草刈り機等のレンタル事業
・伊万里牛の飼育（肥育）農家にAIカメラの導入支援

●実証事業の定着と各種補助制度を活用したスマート農業機器等の導入支援
・中山間地域等直接支払交付金制度を活用
　衛星データによる現地確認を継続実施
　ラジコン草刈り機等の導入支援
・伊万里市中小企業DX支援事業費補助金を活用した環境制御装置等の導入支援

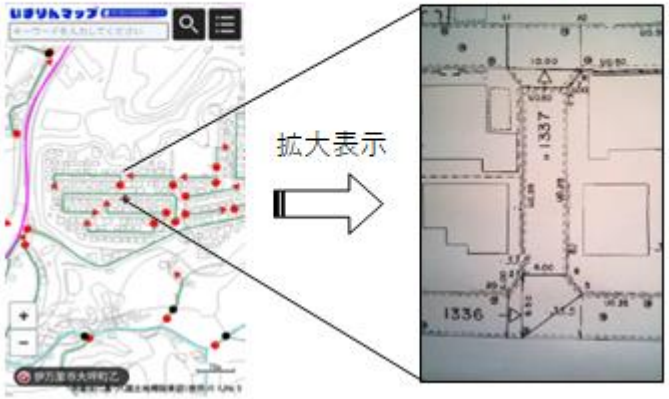
オンライン相談システムの導入

子育て等に悩みを抱える方が、スマートフォン等を利用し気軽に相談できるよう、本市公式LINEを活用したオンライン相談システムを導入

令和7年度
導入事業

【既存】
背景は広域地図
路線上をタップすると路線名称が表示される。

【追加機能】
拡大表示したときに道路台帳平面図に切り替わる。



道路台帳平面図閲覧サービスの導入

道路台帳図をデータ化して、「いまりんマップ」の道路情報を拡充し、閲覧希望者がいつでも閲覧できる環境を整える

しごとづくり・にぎわいづくり
／競争に打ち勝つ産業都市

しごとづくり・にぎわいづくり／産業都市 【主な事業】

農業

・新規就農者等支援
・園芸農業機械・施設等整備支援
・伊万里牛産地強化支援
・伊万里牛出荷奨励支援
・有害鳥獣対策（捕獲報奨金増額）

観光・にぎわい

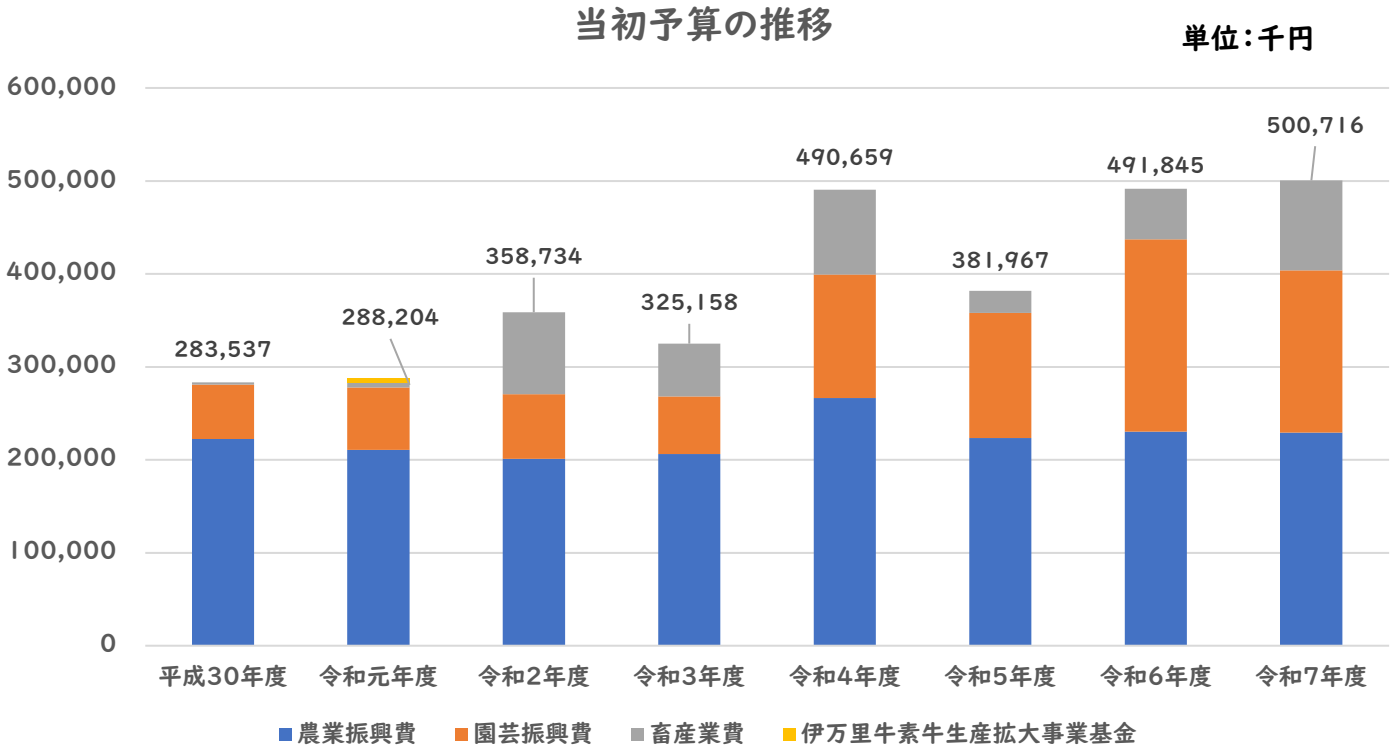
・森永ミルクキャラメルイラストコンテスト
・伊万里アクセラレータの開催
・福岡都市圏向け魅力発信強化
（福岡ジャック、メディアプロモーション）
・道の駅伊万里のリニューアル支援
・小森陽一氏と連携企画「陽心塾」開催

産業

・伊万里・有田焼伝統的工芸品産業振興（伊万里鍋島焼協同組合支援）
・伊万里・有田焼伝統産業会館の総合展示室改修等
・ビジネス支援オフィス（バンリビル）へのIT企業等誘致
・伊万里駅にフリースペース「YOTTOKO（よっとこ）」設置
・企業委託型地域おこし協力隊の活用

農林水産業費・農業費の予算額の推移

平成30年度以降、年々予算を増額して支援を拡充しており、平成30年度と比較し、令和7年度の予算額は1.8倍増の約5億円となっている



平成30年度と令和4年度は6月補正後、それ以外は当初予算額

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

農業

新規就農者の確保、育成を図ります

〇新規就農者の就農後の経費や機械等の導入支援
- 経営開始資金　・経営発展支援事業
- 青年農業者スキルアップ給付金
- 【新】トレーナー支援補助金 など

園芸農業機械・施設等整備支援

〇新規就農者や認定農業者等が行う、園芸用ハウスの整備や省力化機械等の導入支援

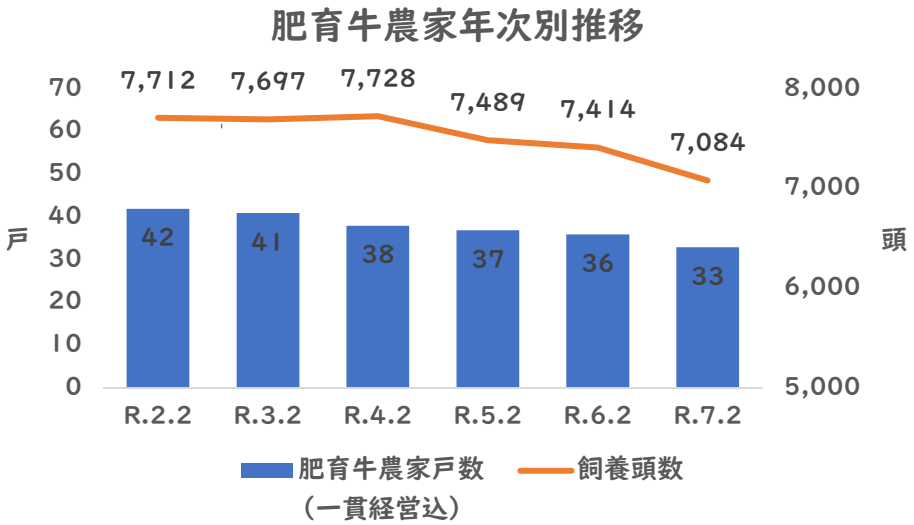
伊万里牛ブランドの振興を図ります

伊万里牛産地強化支援事業

肥育農家数、飼養頭数の減少が続く伊万里牛産地を維持・強化するため、令和2年度に事業を創設し、経営規模の拡大や一貫経営への移行等に要する費用を支援する

事業内容

①サポートセンター利用補助
②一貫経営に取り組む肥育農家の雌牛導入支援
③空き牛舎改修補助、牛舎施設等改修補助
④増頭補助
⑤雇用費補助



九州西北部の活力
創造拠点を目指して

農業

伊万里牛ブランドの振興を図ります

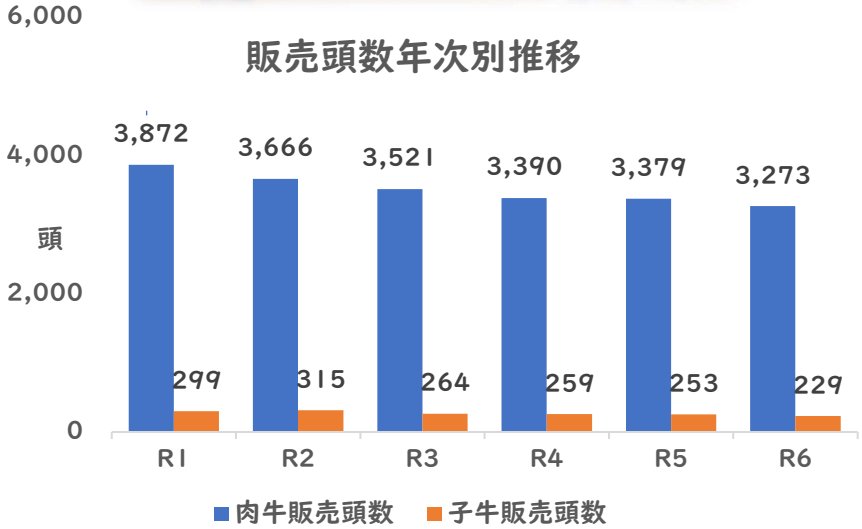
伊万里牛出荷奨励事業

伊万里牛ブランドとしての出荷数量の維持と、伊万里産子牛の安定供給を図るため、出荷した頭数や成績に応じた奨励金を交付する

事業内容

①肥育牛の出荷支援
- 奨励金　2千円/頭（A5の場合3千円加算）
  （A5で規定以上の重量の場合5千円加算）
- 対象見込頭数　5,201頭

②子牛の出荷支援
- 奨励金　2千円/頭
  （県平均セリ価格を上回る場合3千円加算）
- 対象見込頭数　249頭



九州西北部の活力
創造拠点を目指して

農業

イノシシの捕獲報償金を増額し被害軽減を図ります

有害鳥獣対策事業

本市の農作物等の有害鳥獣による被害は、イノシシが全体の7割を占めており、市猟友会の会員が捕獲駆除しているが、高齢化や物価高騰の影響で、現場作業の負担が大きくなっている

イノシシの捕獲報償金単価（市費負担分）を増額することで、捕獲駆除従事者の負担を軽減し、イノシシ被害の軽減を図る。

捕獲報償金

1,000円 UP

・令和6年度
　成獣　市2,500円
　　国・県・JA・市計12,771円/頭
　幼獣　市2,500円
　　国・県・JA・市計 6,771円/頭

→

・令和7年度
　成獣　市3,500円
　　国・県・市計13,771円/頭
　幼獣　市3,500円
　　国・県・市計 7,771円/頭

しごとづくり・にぎわいづくり／産業都市

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

産業

企業誘致を積極的に進めています

平成30年以降に立地・進出協定を締結した企業は19社あり、新規地元雇用者904人、2,361億円の投資が計画されるなど、地域振興に大きく貢献している

年		H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
進出企業数		5	2	5	1	2	3	0	1	19
雇用計画（人）	全体	86	25	185	500	73	70	0	20	959
	うち新規地元	80	22	165	500	66	66	0	5	904
投資額(億円)		4.96	0	265.06	2,015	40.45	35.11	0	0.2	2,360.78

分野別	企業数
製造業	9
事務系	10

No.	企業名	進出協定日	業種	備考
1	株式会社宝山工業	H30.5.17	製造業	立地
2	株式会社IACｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ	H30.12.10	IT関連	進出
3	名村情報システム株式会社	H30.12.19	IT関連	立地
4	株式会社勝栄機工	H31.2.21	製造業	立地
5	タイムカプセル株式会社	H31.3.5	IT関連	進出
6	株式会社インフォグラム	R2.1.15	IT関連	進出
7	株式会社ワールドソフト・イーエス	R2.2.28	IT関連	進出
8	株式会社eグローバル	R2.4.22	IT関連	進出
9	株式会社SUMCO	R2.5.18	製造業	立地

No.	企業名	進出協定日	業種	備考
10	BIZYME株式会社	R2.7.28	研究所	立地
11	株式会社アフロシー	R2.11.24	IT関連	進出
12	株式会社トータル環境	R3.3.2	製造業	進出
13	株式会社SUMCO	R4.1.17	製造業	立地
14	テラサキ伊万里株式会社	R4.6.17	製造業	立地
15	西九州木材事業協同組合	R4.8.2	製造業	立地
16	上田石灰製造株式会社	R5.8.10	製造業	進出
17	ネクストコアテクノロジーズ株式会社	R6.1.22	製造業	進出
18	日本ディクス株式会社	R6.3.18	IT関連	進出
19	株式会社クリエイティブリソースインスティチュート	R7.4.18	IT関連	進出

＊立地協定：具体的な施設の立地に関する協定
進出協定：地域への進出に関する基本合意

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

産業

鍋島藩窯伊万里開窯350周年の取組を支援します①

伊万里・有田焼伝統的工芸品産業振興事業

令和7年に迎える350周年を契機として、鍋島焼の更なる窯業振興や観光地としての魅力向上を図るため、記念事業等に取り組む伊万里鍋島焼協同組合を支援

組合の主な取組

- 産地ブランド確立のプロモーション活動
- 350周年記念事業
- 地域おこし協力隊の活用

令和7年度
新規

鍋島藩窯伊万里開窯350周年の取組を支援します②

伊万里・有田焼伝統産業会館管理運営事業

鍋島焼の歴史や価値等を発信する機能を強化し、市内外に向けて本市の伝統産業の振興を図るとともに、来館者の利便性向上を図る

整備内容

○令和7年度
- 総合展示室を改修
- Wi-Fi環境整備
- 館内トイレ改修

○令和6年度
- エントランスホール
  資料展示室の改修

【エントランスホール】

【資料展示室】

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

産業

ビジネス支援オフィス（バンリビル）へのIT企業等の進出状況

企業名	進出協定日	操業開始	雇用計画	事業内容
名村情報ｼｽﾃﾑ㈱	H30.12.19	H31．2	15人　（15人）	ｿﾌﾄｳｪｱ開発ｻｰﾋﾞｽ等
ﾀｲﾑｶﾌﾟｾﾙ㈱	H31．3．5	R1．12	7人　（8人）	ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ・ｿﾌﾄｳｪｱ開発等
㈱ｲﾝﾌｫｸﾞﾗﾑ	R2．1.15	R2．7	15人　（15人）	ｼｽﾃﾑ開発、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ開発等
㈱ﾜｰﾙﾄﾞｿﾌﾄ・ｲｰｴｽ	R2．2.28	R3．7	7人　（10人）	業務ｼｽﾃﾑ開発等
㈱ｱﾌﾛｼｰ	R2.11.24	R3．4	15人　（30人）	WEB系業務ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ開発等
日本ﾃﾞｨｸｽ㈱	R6．3.18	R6．4	10人　（12人）	ｼｽﾃﾑ・ｲﾝﾌﾗ設計、各種ITｻｰﾋﾞｽ等

令和7年5月現在（撤退企業除く）

※新規地元雇用計画（人数）

※配置転換を含む最終雇用計画（人数）

しごとづくり・にぎわいづくり／産業都市

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

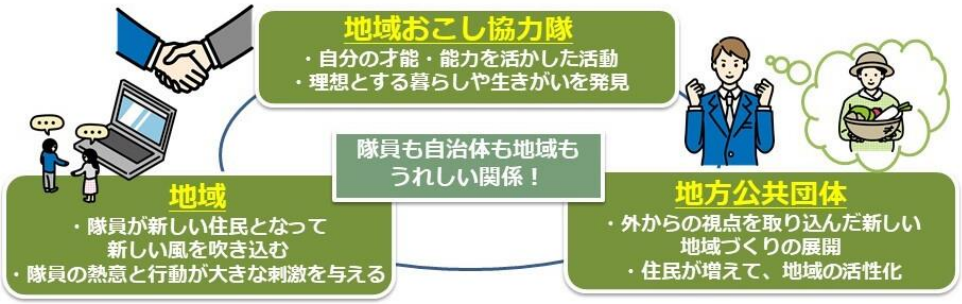
産業・にぎわい

伊万里駅にフリースペース「YOTTOKO（よっとこ）」設置

令和5年6月1日、伊万里市東駅ビル1階テナントにオープン。
高校生等の市民やビジネス客等の駅利用者の休憩、まちづくり団体等のイベント用スペースに活用
・利用実績　約450人/月（R5開設時）

企業委託型地域おこし協力隊の活用

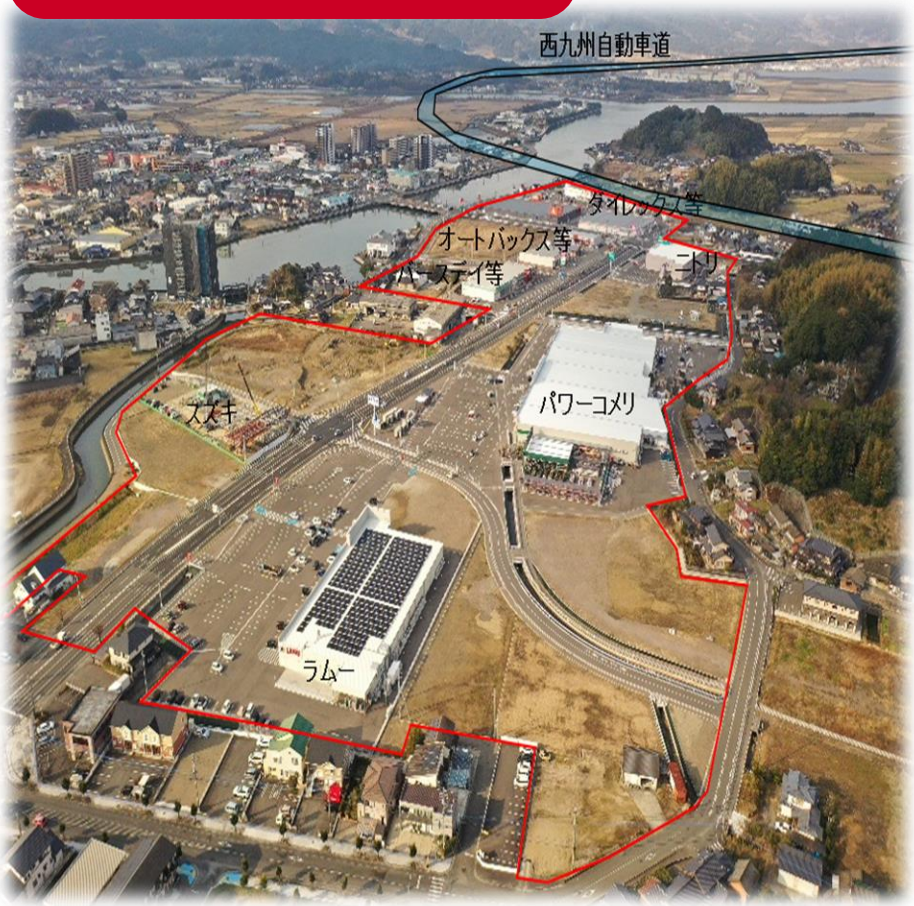
中心市街地の活性化に向け、IT企業等の事務系企業の誘致や起業支援による若者の就業機会の創出のほか、空き店舗に新規出店する際の改装費の補助



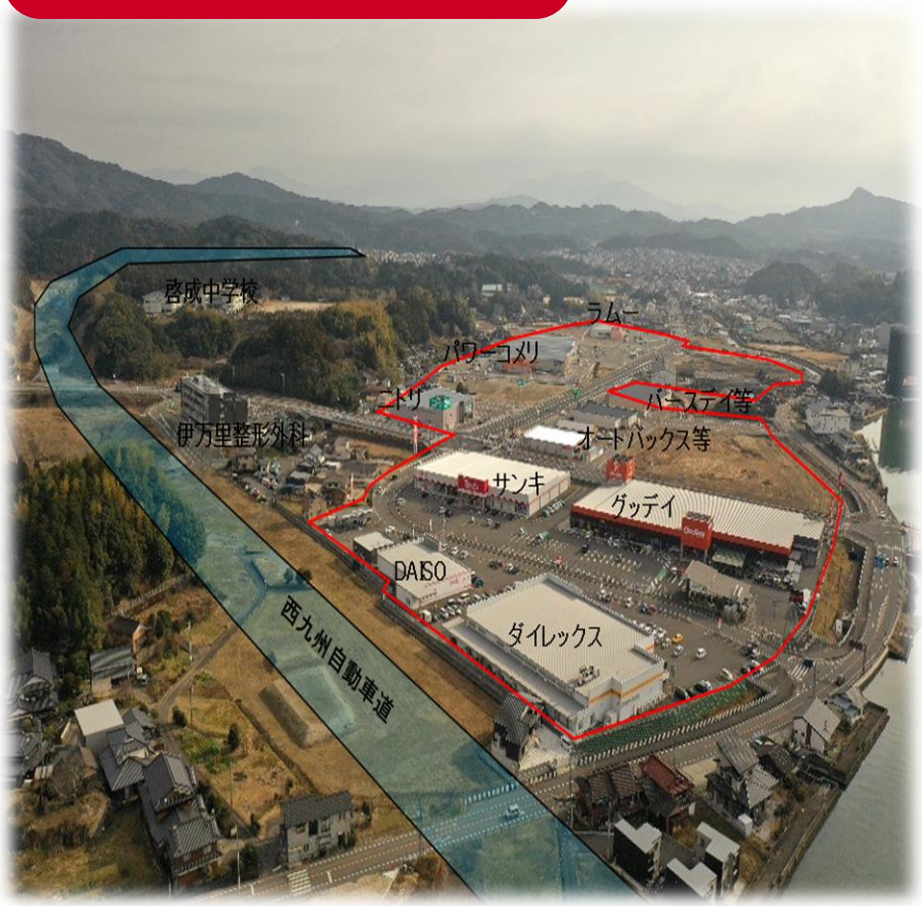
しごとづくり・にぎわいづくり／産業都市　【松島搦の民間開発】

R7.1時点

東側から西側を望む



西側から東側を望む

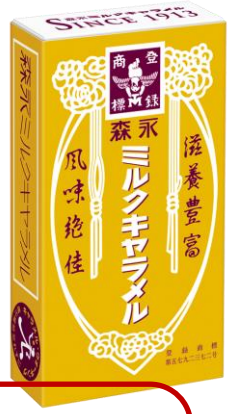


松島搦は、平成25年から黒木建設（合同組合）が開発を進めている。
ダイレックス、グッデイ付近の開発からスタートし、その後、バースデイ、ニトリ付近が開発され、コメリ、ラムー付近という流れで開発が進んでいる。

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

観光・
にぎわい

連携・協力事業　第1弾：森永ミルクキャラメルイラストコンテスト



「西洋菓子のパイオニア」、「製菓王」と称される森永製菓株式会社の創業者「森永太一郎（1865～1937年）」は伊万里市出身

このご縁を大切にし、市民の郷土愛の醸成及び地域の活性化を目的とした包括連携・協力に関する協定書を、令和3年3月に締結

令和3年6月10日の「ミルクキャラメルの日」に合わせ、「森永ミルクキャラメル」×「いまりんモーモちゃん・いまりんモーモくん」をコラボしたイラストを募集。市内の小学生から高校生まで、魅力溢れるイラスト約460点の応募があった

市内スーパーにて「ミルクキャラメルブランドフェア」開催

優秀作品表彰式（優秀作品は、販促用広告/POPに活用）

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

観光・
にぎわい

事業成長支援プログラム「伊万里アクセラレータ」の開催

概要

「突き抜けた伊万里を創生せよ」をテーマに

- 伊万里市の地域活性化を目指す市内外の個人・団体を対象に事業アイデアを募集
- 19のアイデアが提案され、その中から6つを採択
- 助言や指導、提案を行う「メンター」が複数人付き、3か月間オンラインミーティングを重ね、令和4年3月に発表会を開催

令和3年度

採択されたテーマ

①暮らしと漢方のテーマパーク
②伊万里を楽しむ！みらいを楽しむ！キッズしぜん楽隊
③「野菜・果物」の提供による地域活性化
④伊万里の特産品をもう一つ
⑤伊万里牛レザーで変わる町
⑥IMARI ALOHA

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

観光・
にぎわい

福岡都市圏向けの更なる魅力発信を強化します

福岡都市圏等からの更なる誘客を図るため、鍋島藩窯伊万里開窯350周年や道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」のリニューアルを契機に、「伊万里フェア」をはじめとしたイベントを開催するなど、様々なメディアを活用し、情報を発信する

事業内容

- 福岡都市圏メディアプロモーション
- 伊万里フェアの開催
- インフルエンサーを活用した情報発信
- 福岡ジャックプロモーションの実施
- 福岡都市圏における広告掲出
- 観光パンフレット等の印刷　など

Instagram

【シティプロモーション
公認サポーター
石本　愛　氏】

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

観光・
にぎわい

道の駅伊万里のリニューアルを支援しました

道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」の再生に向け、施設のリニューアルに取り組む伊万里市農業協同組合を支援した

令和7年
3月28日
リニューアル
OPEN!

公園遊具（新設）

特産館（新設）

リニューアルの概要

地域に親しまれ
伊万里の魅力を発信する道の駅

① 子どもの遊び場等の整備による地域住民等の交流の場の創出
② 店舗デザイン、品揃えの見直しによる地域住民の日用品（生鮮三品等）調達環境の改善
③ 新規商品開発による関係人口の創出 など

小森陽一氏との連携企画「陽心塾」を開催しました

伊万里市制施行70周年を記念し、本市出身の人気作家「小森陽一」氏の世界観に触れながら、子どもから大人まで、豊かな心を育む特別な塾を開講し、郷土愛を醸成するとともに、本市の魅力を市内外に発信する

【怪獣フィギュアの第一人者】

事業内容

①これからのモノづくりを担う学生等との大川内山体感企画（小森氏のモノづくり講義ほか）
②映画や特撮の世界観を伊万里で体感する小森氏ワールド全開企画（動画上映、ガレージキット展示）
③小森氏が特にフィーチャーしてきた海上保安庁との郷土愛醸成企画（伊万里湾体験航海）
＊荒天で中止

【名村造船所でのトークショー】

世界に向けた港湾都市

世界に向けた港湾都市 【主な事業】

・伊万里港の長期構想の策定促進
・伊万里ウィンドパワープロジェクト協議会の設立
・伊万里港ポートセールスの推進
・伊万里ファミリーパーク等官民連携導入可能性調査
・伊万里港（七ツ島地区）臨港道路 七ツ島線の開通（国土交通省）
・臨港道路久原線の4車線化（佐賀県）

など

世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流拠点としての地位の向上

伊万里港の長期構想の策定を促進します

浦ノ崎地区の開発に向け、洋上風力発電の関連産業やフェリー・RO-RO船の誘致に向けた調査研究を進めるなど、佐賀県との連携により、伊万里港の将来を見据えた長期構想の策定を促進する

【浦ノ崎地区廃棄物処理用地】

伊万里ウィンドパワープロジェクト協議会

洋上風力発電の関連産業の誘致により、市内での雇用機会の拡大や地域経済の活性化を図るため、行政と民間が一体となって協議会を発足

- 令和6年5月28日設立
- 会員数43法人(R7.4.1現在)

世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流拠点としての地位の向上

伊万里港ポートセールスを推進します

コンテナ貨物取扱量の増加を図るため、伊万里港をトライアル利用する荷主等への助成など佐賀県伊万里港振興会の取組を支援する

伊万里港概要

- アジアに開かれた重要港湾「伊万里港」
- 釜山や大連、上海など4つの定期航路が就航

事業概要（コンテナ助成）

- 東南アジアや台湾に輸出入（新規・拡大）する荷主
- 伊万里港を新規でトライアル利用する荷主
- 伊万里港を新規で利用する物流事業者

【七ツ島地区
国際コンテナターミナル】

伊万里港の強みをいかした国際物流拠点としての地位の向上

海に親しむ公園の整備を進めます

伊万里ファミリーパーク等官民連携導入可能性調査

ファミリーパーク、イマリンビーチ、福田マリーナの一体的な更なる活用を図るため、令和7年度に、佐賀県と連携して、民間活力を取り入れた施設整備の可能性調査を実施する

伊万里港（七ツ島地区）臨港道路七ツ島線の整備（国土交通省）

○区　間：七ツ島工業団地 ～ 国道204号バイパス
○延　長：977m × 片側1車線 （橋梁部：431m、陸上部：546m）
○事業費：58億円
○開通式：令和4年8月28日
○その他：橋梁部の名称は一般公募し、179件の応募の中から「七ツ島大橋」に決定

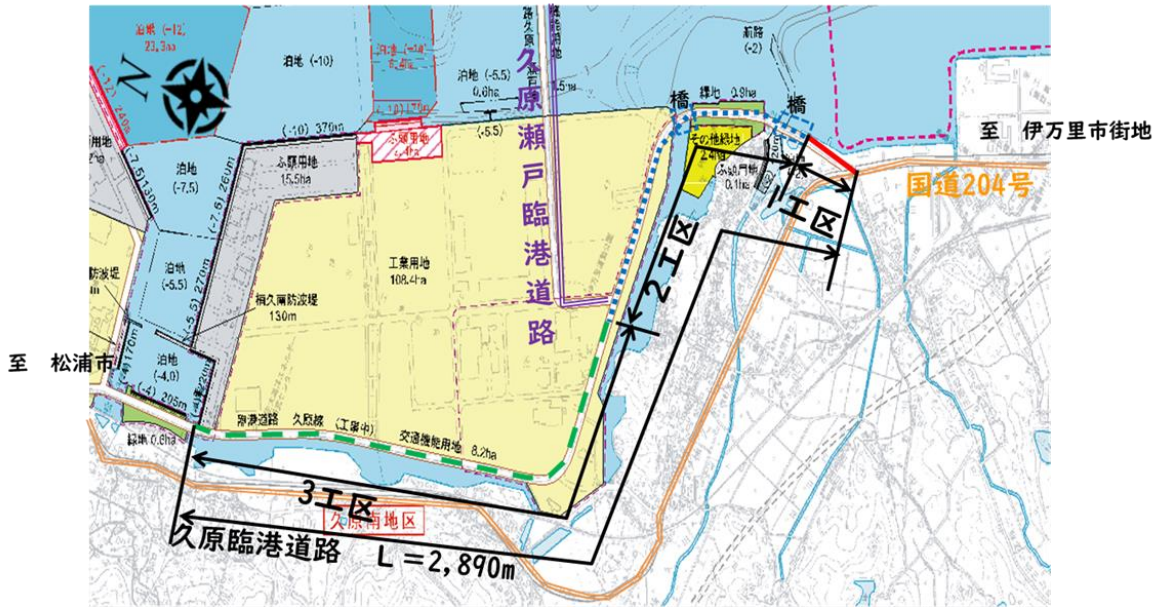
伊万里港の強みをいかした国際物流拠点としての地位の向上

臨港道路久原線の4車線化（佐賀県）

○区間：楠久津交差点 ～ 久原原橋　　○延長：2,890m

○期間：令和5年～未定（予算状況や設計内容により変動）

○概要：現在、暫定2車線で供用している久原線は、伊万里団地内の企業の工場増設に伴う物流・人流の更なる増加により、通勤時間帯の慢性的な渋滞の悪化が懸念されることから、4車線化の整備を進めている



安全・安心なくらしづくり

安全・安心なくらしづくり 【主な事業】

・災害備蓄倉庫の設置
・非常用太陽光発電の確保
・避難所としてのコミュニティセンターの整備
（講堂へのエアコン設置、トイレの洋式化等）
・楠久津地区の浸水対策
・消防団員報酬を増額改定
・自治公民館の新型コロナウイルス感染症対策の環境整備
・交通安全施設整備　市道提川・川西線
・散弾銃射撃場の汚染土壌の撤去・処分
・西九州自動車道の整備（国土交通省）　　など

安全・安心なくらしづくり 【防災体制の充実】

災害備蓄倉庫の設置

・場　所　13町・地区のコミュニティセンター
・床面積　9.9㎡
・備蓄品　消毒液、パーテーションなど
　　避難所の感染症対策に必要な物資等

非常用太陽光発電の確保

・場所　8町・地区のコミュニティセンター
　（伊万里、牧島、立花、大川内、波多津、南波多、二里、山代）
・事業者が設置
・平常時　売電のための屋根貸し（占用料収入）
・災害時　非常電源として活用可能

安全・安心なくらしづくり 【防災体制の充実】

災害用の資機材を13コミュニティセンターへ新たに配備（令和2年度）

○簡易ベット、パーテーション等の災害用備蓄品

災害時の避難所としてのコミュニティセンターの整備

講堂へのエアコン設置

・事業費：76,828千円
・令和3年6月設置（7月より運用開始）
・設置施設：9施設（伊万里・牧島・立花・大川内・南波多・松浦・二里・東山代・山代）
・設置済：3施設（波多津・大川・黒川、大坪は改築時に設置済）

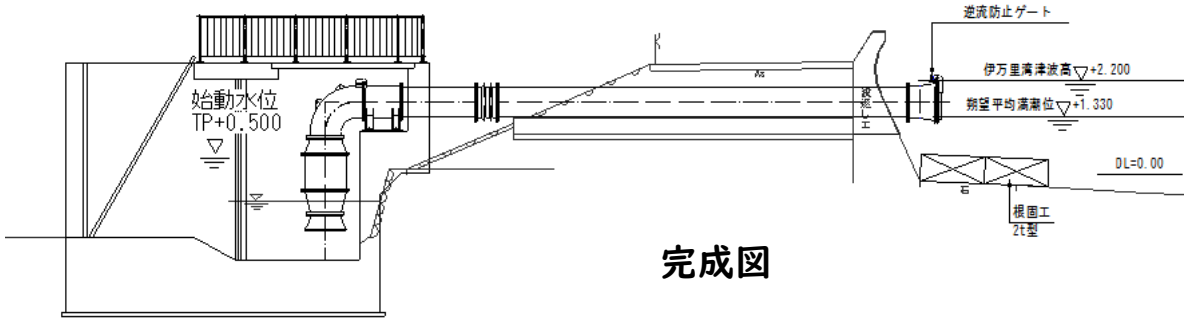
トイレの洋式化等

・令和3年12月設置
・設置施設
　全面改修　：2施設（牧島・山代）
　自動水洗化：1施設（波多津）
　洋式化、洗浄便座設置、自動水洗化：
　　9施設（伊万里・立花・大川内・黒川・南波多・大川・松浦・二里・東山代）

楠久津地区浸水対策事業

大雨時の宅地への浸水被害の低減を図るため、楠久津排水機場を整備した

・施工場所： 伊万里市山代町楠久津地内
・総事業費： 2億9,200万円
・工　　期： 令和3年3月から令和4年8月



完成図

施設概要
・縦軸一体型水中ポンプ　2台
（φ700mm 排水量1.0m3/s）
・自家用発電機（屋外型） 1台
（125KVA タンク容量600L）
・スクリーン、操作架台 1式
・配管設備 1式

消防団員の報酬を増額改定しました

全国各地で地震や風水害などの自然災害が頻発し、消防団の役割が拡大する一方、消防団を取り巻く社会環境は厳しく、消防団員は全国的にも減少している。

そこで、消防団員の処遇や活動環境等の改善を図るため、国の基準の基づき、令和5年4月に年額報酬と出動報酬を改定した。

主な改正の内容

区 分	令和4年度まで 年額報酬	改定後 年額報酬	変更額
団 長	90,200円	90,200円	0円
副団長	59,800円	69,000円	+9,200円
分団長	44,700円	50,500円	+5,800円
副分団長	26,200円	45,500円	+19,300円
部 長	18,600円	37,000円	+18,400円
班 長	12,300円	37,000円	+24,700円
団 員	11,600円	36,500円	+24,900円

自治公民館の環境整備

新型コロナウイルス感染症の感染対策として、地域活動の拠点であり、地域住民に最も身近な自治公民館の設備環境を整備した

令和3年度

整備概要

◆換気機能の向上　・・・空気清浄機の設置、エアコンの新設・増設・取替等
◆非接触対応　・・・洗面所蛇口等の自動水洗化等
◆トイレ洗浄時の飛沫防止　・・・トイレ洗式化等

◆整備実施施設　・・・136施設（125行政区分）
◆事業費等　・・・総事業費　45,399千円　⇒　市補助額　33,440千円

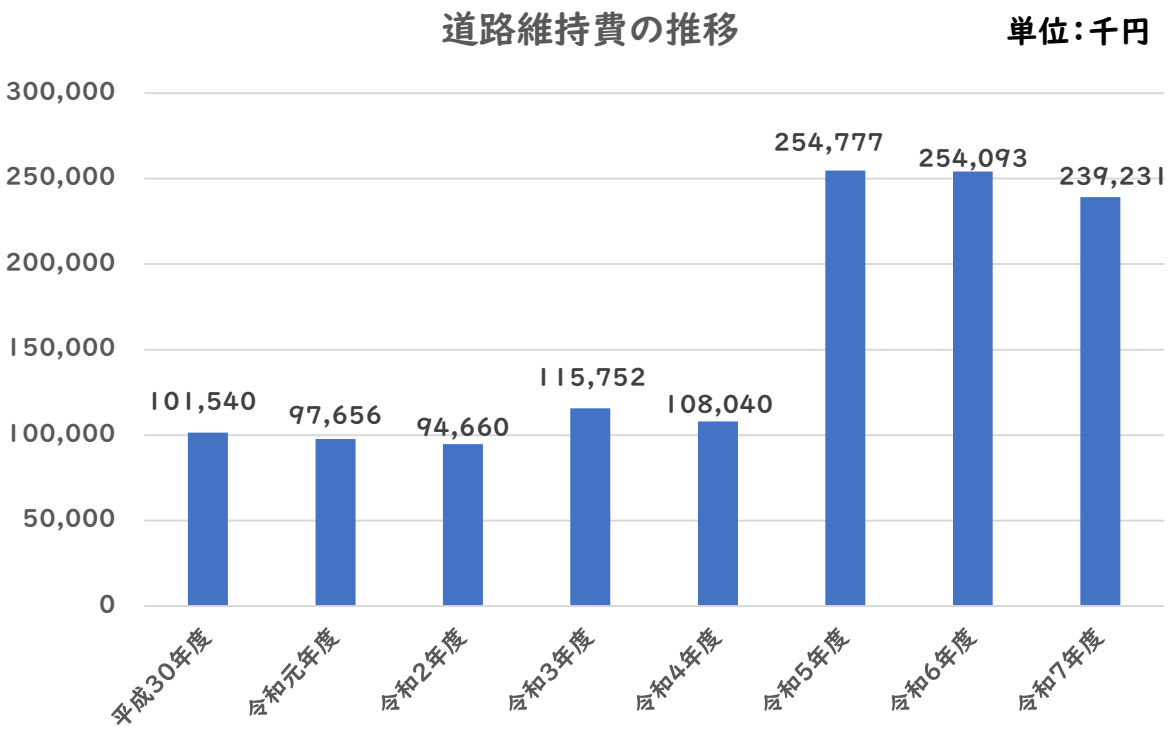
※自然災害時における分散避難等の対応など、地域住民の安全・安心を提供。

道路維持管理費の推移

平成30年度以降、年々維持管理費を増額して整備を進めており、平成30年度と比較し、令和7年度は2.4倍増の2億4千万円を計上している

概要

- 市道
  - 1,816路線
  - 延長約953km
- 工事
  - 舗装補修
  - 道路維持補修
  - 局部改良（側溝整備）
  - 照明補修
- 委託
  - 草刈、植栽管理
  - 支障木伐採



・令和6年度は決算見込み、令和7年度は予算、それ以外は決算額

交通安全施設整備事業　市道提川・川西線

道路交通安全施設等整備事業費補助金を活用し、歩行者の安全確保を図るため、歩道の新設を行っている

整備概要

・歩道設置延長　870m
・道路幅員　　10.25m
　（歩道3.5m、車道6.75m）
・事業期間　令和4～7年度
　令和6年度　歩道設置工事
　令和7年度　舗装工事
・事業費
　総事業費　　3億1,797万円
　令和6年度　工事費 1億　900万円
　（うち国費　5,995万円）
　令和7年度　工事費　　9,000万円
　（うち国費　4,950万円）

安全・安心な暮らしづくり　【汚染土壌の処理】

散弾銃射撃場の汚染土壌を撤去・処分しました

- 大川内町の散弾銃射撃場内の高濃度汚染土壌のうち、特に高い値が検出された4，200㎡のエリアの汚染土壌（約500㎥、632トン）を撤去
- 伊万里港から秋田県の最終処分場へ船舶で輸送
- 令和7年3月の検討委員会で水質調査結果が改善したと報告あり

工事内容

- 汚染土壌撤去、運搬、処分
- 法面種子吹付

工期

令和5年9月5日～令和6年5月31日

工事請負費

112，094，400円

【着工前の状況】

年月が経ち数ミリの小さな粒に

西九州自動車道の整備が進んでいます（国土交通省）

福岡市を起点に唐津、伊万里、松浦、佐世保を経由し武雄に至る全体延長約140kmの一般国道の自動車専用道路の整備が進んでいる

伊万里道路

- 区間　伊万里東府招IC～（仮称）伊万里中IC～（仮称）伊万里西ICまでの6.6km
- 工期　平成7年度～完了時期未定
- 進捗率　用地取得100%　事業50%、
- 予算　令和7年度（国）1,200,000千円

伊万里道路大坪町永山地区付近の進捗状況

↑松浦市

唐津市↓

公民連携のまちづくり・
効率的で効果的な行財政運営
／SDGs推進都市

公民連携のまちづくり／SDGs推進都市【主な事業】

・公民館のコミュニティセンターへの移行
・地域づくり推進（まちづくり交付金の交付、地域づくりサポーターの配置、eスポーツ体験会の開催）
・地域経営支援
・地区と連携した市道の草刈・支障木伐採業務
・介護予防・日常生活支援（べんりカーやましろ号の運行）
・移動販売事業者支援
・図書館改修（カーボン・ニュートラル・ライブラリー）
・移住・定住促進（移住奨励金等の交付、実家に帰ろう住宅改修等補助）
・みんなの地域創造拠点形成事業
・地域おこし協力隊による地域活性化
・大坪保育園・コミュニティセンター複合施設の整備
・高齢者が元気に活躍できるまちづくり
・市長座談会「市長と話そう　あしたの伊万里」の開催　　など

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【地域のまちづくり活動の促進】

公民館のコミュニティセンターへの移行

・令和2年4月に移行
・地域のまちづくり活動の拠点としての機能強化
・地域の課題解決に向けた住民主体による自由な事業展開
・各地区・町のまちづくり運営協議会の地域課題の解決やまちづくりへの取組を促進する、人的・財政的支援の実施

まちづくり交付金の交付

・各地区・町のまちづくり運営協議会に、交付金を交付
　地域づくり交付金　550千円×13地区

地域づくりサポーター（集落支援員）の配置

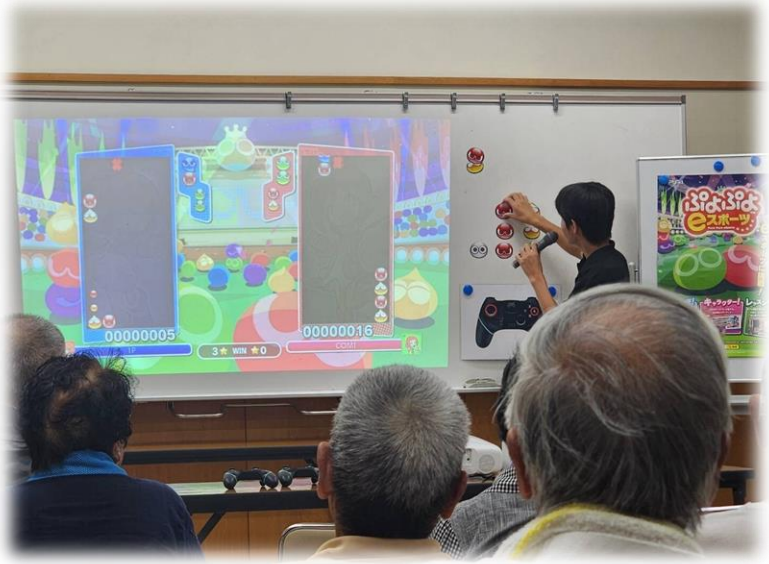
・地域の実情に詳しく、集落対策のノウハウ・知見を有する人材を配置する
令和2年4月～：波多津町、二里町　　10月～：黒川町
令和7年4月～：牧島地区、大坪地区、黒川町、波多津町、松浦町、二里町、山代町（予算）

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【地域のまちづくり活動の促進】

地域経営支援事業

〇暮らしの中の困りごと解決など、住み慣れた地域で安心して住み続けるための取組を支援
・地域環境改善業務委託
・地域経営支援補助金　など

令和7年度



地域づくり推進事業

〇地域課題の解決や身近なまちづくりへの取組を支援
・地域づくりサポーターの配置（7地区）
・地域づくり交付金
・【新】eスポーツ体験会開催　など

令和7年度

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【地域のまちづくり活動の促進】

地区と連携した市道の草刈・支障木伐採業務

令和6年度から、モデル事業として市から地区に委託し、市道の草刈や支障木伐採を実施している

山代町

市道2路線で、計3回草刈を実施した

各地区から85名の登録があり、1回当り約30名の協力を得て整備した

大川町

市道4路線で、草刈4回と支障木伐採2回を実施した

各地区から延べ29名の協力を得て整備した

介護予防・日常生活支援総合事業（べんりカーやましろ号の運行）

山代町では、少子高齢化が進む中、共助・互助の取組として、令和4年5月から、地域支え合い移動型サービス「べんりカーやましろ号」を運行

実施主体

山代町元気なまちづくり運営協議会
（市介護予防事業と町内8事業者が協賛）
・予約受付、連絡調整担当　1名
・ボランティアドライバー　12名

利用概要

・対象　町内在住で介護保険認定の要支援者や65歳以上の高齢者など移動が困難な方
・目的　高齢者サロンや百歳体操などの介護予防事業への送迎、病院や店舗などへの移動支援
・料金　概ね15km圏内、ガソリン代　12円/キロ

利用状況等　R7.4現在

・週5日運行
・べんりカー登録者数　190名
・月当たり平均利用者数　129名

移動販売事業者支援事業

買い物が困難な市内地域における買い物手段を確保するため、移動販売事業者に、移動販売車の維持経費の一部を補助することで、住み慣れた地域で今後も暮らし続けるために不可欠な生活サービスの確保を図る

令和6年度

補助対象経費

燃料費、車検費等

予算額

・移動販売車支援事業費補助金
　500千円（250千円×2事業者）
・補助率　1/3以内（上限250千円）

公民連携まちづくり／SDGs推進都市【カーボン・ニュートラル・ライブラリー】

図書館改修事業

令和7年度

〇カーボン・ニュートラルを推進する拠点施設として整備するため、実施設計に取り組む

・学びの場づくり

学習プログラムの提供（参加体験型など）

環境学習の周知と実践

・省エネ、再エネ活動

照明設備や空調設備の更新

（令和4・5年度）

再生エネルギー（太陽光）の導入

※写真はイメージです

カーボンニュートラルって？

排出するCO_2（カーボン）と吸収・削減するCO_2の量をプラスマイナスゼロにすること

例えば、工場や車などのCO_2を、植樹、太陽光に切り替え、省エネなどで相殺する

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【移住・定住を促進】

移住・定住促進事業

本市への更なる移住・定住の促進を図るため、奨励金制度を活用した取組を積極的に展開するほか、移住体験ツアーの実施など情報発信等を行う

事業内容

・移住奨励金等の交付
　未来につなぐいまり移住支援金・いまり暮らしスタート支援金・移住促進奨励金等
・移住体験ツアーの開催
・移住に関する情報発信の強化　など

支援金額

【未来につなぐいまり移住支援金の場合】
・対　象　県外在住で転入時59歳以下（各要件あり）
・支援金　世帯：最大100万円、単身：最大60万円

＊令和7年度から県の見直しに伴い、内容を見直し

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【移住・定住を促進】

実家に帰ろう 住宅改修等補助金

実家が市内にある市外在住者（本市へ転入後5年未満の者を含む）が当該実家にUターン等する場合に、実家の改修工事または解体・新築工事に係る費用の一部を補助（要事前申請）

要件

69歳以下で、直近10年のうち市外5年以上在住等

補助金額

・改修の場合
改修工事費の1/2（上限額50万円）
・解体新築の場合
解体工事費の1/2（上限額100万円）
と新築補助金（上限30万円）
※その他、子育て加算（30万円/1人）と
地域指定加算（20万円）有り

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【若者視点での賑わいづくり】

みんなの地域創造拠点形成事業

総務省の「地域活性化起業人制度」を活用し（令和7年度は一般財源）、「伊万里まちなかラボ」構想として、大学生等が市内でフィールドワークや地域資源を活用した新商品の開発等の取組を通して、関係人口創出を目指す

実施事業

- 長崎県立大学とJA伊万里が研究契約締結、メンチカツ開発
- 宗政酒造と連携し、すももリキュール開発
- 大川内山やいまり秋祭りでの出店
- 大学向けフィールドワーク・イベント実施推進補助金を創設

令和４から６年度の３年間で、延べ約２千人の大学生が伊万里を訪れた

【JA伊万里との連携】

【青春のしずく】

【伊万里秋祭り梨ビール】

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【若者視点での賑わいづくり】

地域おこし協力隊による地域活性化

地域活性化や地域コミュニティの維持・強化を図るため、令和4年度から6年度まで東山代町川内野地区で隊員1名が活動した

「かわちのキャンプ場」の開設に向けて

令和5年度の取組

テントサウナのニーズを把握するため、6月11日に、体験イベントを実施し、県内外から20人が参加

令和6年度の取組

県の補助事業（さが未来アシスト事業）を活用して、テントサウナを購入し、2回「テントサウナ開放DAY」を開催。テントサウナを備えた「川内野キャンプ場」が令和7年4月オープン

大坪保育園・コミュニティセンター複合施設の整備

世代間交流や地域の子育て力の促進など地域交流の拠点整備として、公共施設再編（ファシリティマネジメント）の観点も踏まえ、老朽化している大坪保育園と大坪コミュニティセンターの複合施設を整備し、令和3年11月23日に落成式を行った

＊保育園とコミュニティセンター（公民館）の複合施設は県内初で全国的にも例が少ない

○完成　　令和4年3月
○事業費　5億3,281万1,000円
○構造　　鉄骨造平屋建
○延床面積　1517.05㎡
　うちコミュニティセンター754.07㎡
　　保育園　　762.98㎡

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【子ども・多世代・賑わい】

松浦健康増進施設の供用開始

佐賀県西部広域環境組合とさが西部クリーンセンター対策協議会で締結した「地域振興策協定」に基づき、松浦コミュニティセンターの隣に建設し、令和5年4月1日に供用を開始した。トレーニングやスポーツができ、子どもたちが遊べるキッズスペース等を備える

使用料の無料化による健康づくりの推進

市民の健康づくり活動の推進を図るため、施設を無料で利用できるよう、市が使用料を負担する

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【高齢者支援】

高齢者が元気に活躍できる地域づくりの推進①

令和4年度に、高齢者が交流やレクリエーションをとおして、コミュニティセンターを憩いの場とする「高齢者はつらつ事業」を各地区で実施

伊万里
【ニュースポーツ用具（ワナゲ）】

牧島
【フィットネス器具（マルチジム）】

大坪
【蕎麦作りセット】

立花
【カラオケシステム】

大川内
【フィットネス器具（リカンベントバイク）】

黒川
【百歳体操用モニター】

公民連携まちづくり／SDGs推進都市 【高齢者支援】

高齢者が元気に活躍できる地域づくりの推進②

波多津
【テレビ、佐賀にわかDVD】

南波多
【百歳体操用モニター】

大川
【映画上映用プロジェクター、DVD】

松浦
【ニュースポーツ用具（モルック）】

二里
【麻雀セット】

東山代
【ボッチャセット】

山代
【映画上映用プロジェクター、DVD】

公民連携まちづくり／SDGs推進都市　【市民参画】

市長座談会「市長と話そう　あしたの伊万里」を開催しました

令和6年11月から令和7年1月までの3ヵ月にわたり、市内全13地区で、市長座談会を開催した。いただいた貴重な意見を市政運営にいかしていきたい

波多津町

概要

- 「これまでの市政運営」と、重点的に取り組んでいる「大型プロジェクト」を説明
- 各地区から提出された課題に関する意見交換を実施
- 全体で約660名の方が参加

伊万里地区

各地区からの主な課題

- 地域活動の担い手不足、地域コミュニティの希薄化
- 高齢者などの公共交通機関の確保、耕作放棄地の増加、道路の維持管理、若者の定住策
- 若い世代からは、学校給食費の支援、屋内遊び場・公園遊具の整備、高校生までの医療費助成の拡充など

あしたの伊万里市を
リードするプロジェクト

あしたの伊万里市をリードするプロジェクト 【主な事業】

・市民会館跡地の複合施設の整備

・国見台公園の総合的な整備

・伊万里駅周辺活性化プロジェクトの推進

人づくり／子育て応援

子育て・若者成長応援パッケージ

あしたの伊万里市をリードするプロジェクト

市民会館跡地の複合施設の整備を進めます

子育て・憩い・賑わい・交流

子育て世代が魅力を感じ、高齢者が元気に活躍できる地域の拠点

施設名	R6	R7	R8	R9	R10	R11
新複合施設	→	→	→	→	→	【供用開始】
いまり保育園	→	→	→	【開園】		

子育て支援・多世代交流　複合施設

令和7年度は、既存施設と市民センターの再配置を含めた、新複合施設の基本設計等を行う

いまり保育園（園庭側）

※構想図であり、建物の詳細など今後の詳細設計で決定する

人づくり／子育て応援

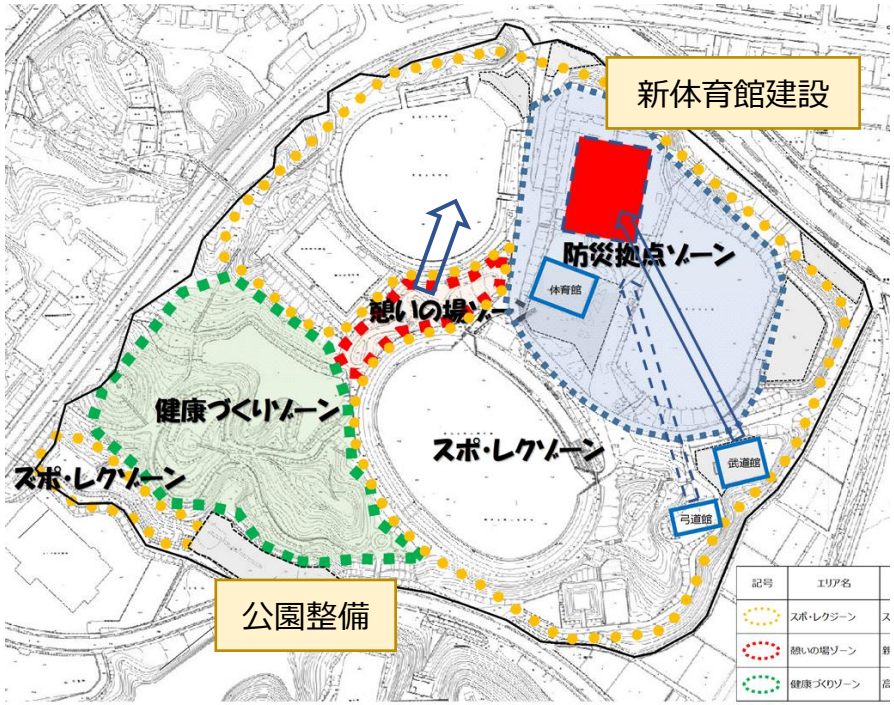
子育て・若者成長応援パッケージ

あしたの伊万里市をリードするプロジェクト

国見台公園の総合的な整備を検討します

市内中央部の基幹公園である国見台公園の魅力向上を図るため、「スポーツ・健康・憩い・防災」の4つをテーマに、新体育館の建設を中心に、公園エリアを含めた総合的な整備を検討する

施設名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
国見台公園	→	→	→	→	→	→	【供用開始】



※構想図であり、建物の詳細など今後の詳細設計で決定する

九州西北部の活力
創造拠点を目指して

あしたの伊万里市をリードするプロジェクト

伊万里駅周辺活性化プロジェクトを推進します

伊万里駅周辺に賑わいを創出するため、これまで駐車場としての利用に留まっていた市営駅前駐車場用地を活用し、民間提案による新たな事業を実施する

事業主体・概要

○事　業　者：株式会社アイ・エス
○開業時期：令和8年10月予定
○建物概要：ホテル
○名　　称：MIDORI TO HOTEL
・地上9階建て、客室数127室
・カフェ、温浴施設
・市民が自由に利用できる
公共スペース
・情報発信ブースの設置

＊令和7年3月31日安全祈願祭

黒塩地区廃棄物最終処分場の建設計画について

黒塩地区廃棄物最終処分場の建設計画について①

Ⅰ 判断の理由

【佐賀県】

設置許可に係る手続きの中で法的な瑕疵がなかったことを再確認

【事業者】

① このまま事業を進める意思があるのか
② 説明会などで市民からあった疑問や意見などに真摯に対応できるか
③ 市民の意向を受けた市の考えに沿えるか

【顧問弁護士】

（札幌高裁判決）

・廃棄物処理法で定める要件に適合している場合、知事に裁量権はない
　⇒ 市が感情論的に計画に反対しても、明確に法的な根拠を持った上で、瑕疵を提起しない以上、法的に許可取消しはできない
・着工遅延などにより実害が発生すれば、損害賠償のおそれあり
　⇒ 市は、地域と連携して、約束や合意を図るべき

黒塩地区廃棄物最終処分場の建設計画について②

2 市の判断

事業者が市の意思に関係なく、「許可」を根拠に工事を進めることも考えられる

⇒ 建設計画を受け入れ、市が積極的に関与し、市民の安全安心を確保しながら、市にとって有益な未来が築けるような形を目指していくべき

3 佐賀新聞の記事（12/24付け）

・「受け入れ表明、建設着工へ」

⇒ 市は着工を容認していない

・黒川町と牧島地区の住民の理解がまだ不十分

⇒ 事業者から黒川町、牧島地区住民へ、概要ではなく計画内容等さらなる説明をしてもらう

黒塩地区廃棄物最終処分場の建設計画について③

4 環境保全協定に盛り込む内容

（例えば）

・親会社の大栄環境株式会社は、施設の建設、運営を含む全てに責任を持つこと
・反対署名であった、廃棄物が「ごみの山」に見えないように見直すこと
・反対署名であった「動物の死骸・ふん尿」は搬入しないこと
・工事等にあたっては、市内事業者を優先すること
・職員の雇用にあたっては市民、特に黒川町、牧島地区を優先すること
・地域振興策については、黒川町、牧島地区の地域と協議の上行うこと
・埋立完了後の跡地活用については、市や黒川町、牧島地区の地域の要望を踏まえ、市民が運動や憩えるような公園など、将来を想定した設計、ビジョンを示すこと

5 協議会の設立

黒川町、牧島地区の合同による地域の代表者などで構成する協議会を設立してもらい、事業者に対する条件提示や環境保全協定締結に向けた協議を進める

【メンバー】

区長会、老人クラブ、PTA、子ども会、女性部、青年部、まちづくり団体　など

黒塩地区廃棄物最終処分場の建設計画について④

最終処分場の概要

・事業者
肥前環境株式会社（伊万里町甲513）
※大栄環境株式会社の連結子会社

・施設の種類
産業廃棄物管理型最終処分場
一般廃棄物最終処分場

・設置場所
黒川町黒塩字飛石

・埋立面積　　52,819.1㎡

・埋立容量　1,104,632㎥

黒塩地区廃棄物最終処分場の建設計画について⑤

最終処分場　類似施設

・管理型最終処分場

　地下水汚染防止のため、二重構造の遮水工や浸出水を処理する施設、ガス抜き設備などが義務付けられる施設

御坊リサイクルセンター
（和歌山県御坊市）

埋立容量：2,818,301㎥

三重リサイクルセンター
（三重県伊賀市）

埋立容量：12,807,077㎥

黒塩地区廃棄物最終処分場の建設計画について⑥

最終処分場　跡地利用

廃棄物の埋立期間（約20年）
　埋立完了後、跡地利用について事業者と地元で協議が行われる。

（例）和泉リサイクル環境公園では

・花の農場
四季を通して様々な花を栽培
その他、ハーブ園や日本庭園等を設置

・多目的グラウンド
サッカーや野球などのスポーツを楽しむことができる

・その他施設
施設内では地元で採れた野菜や石窯で焼かれたパンや飲み物を販売

和泉リサイクル環境公園（大阪府和泉市）

【市長講話】

市政の動きについて

（平成30年度～令和7年度）

iMAR!